無産階級評論雑誌

大衆

VOL.I　十二月號　NO.10

大正十五年四月二十四日第三種郵便物認可　大正十五年十一月二十八日印刷　十二月一日發行（毎月一回一日發行）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大衆パンフレット

豫告

無産階級の政治運動……大山郁夫

世界經濟より觀たる英國炭坑爭議……櫛田民藏

帝國主義と殖民地問題……大内兵衛

最近世界資本主義の現勢……大森義太郎

唯物辯證法解說……山田盛太郎

勞働立法現下の問題……平野義太郎

——以下續刊——

京都市丸太町通寺町東 振替大阪一七〇五番

弘文堂書房

東京市神田區淡路町二 振替東京五三九〇九番

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

第一卷　大衆　第十號

□吾等の總選擧對策……薄　茂人（二）
□新政黨樹立促進會……黑田壽男（六）
□無産政黨の諸分派の對立關係及び　その前途の展望……大山郁夫（一〇）
□總同盟幹部の無氣力。主義に對する無確心……細迫兼光（一七）
□日本鑛夫組合當面の任務……黑川悟朗（二三）
□吾が國の海上勞働運動……大串榮吉（二七）
□土地所有權矛盾の展開過程……青木惠一（三六）
□「父は考へた」……鹿地　亘（四八）
□英國總罷業の後（二）……ロゾブスキー（五一）
□臺灣に於ける政治運動（下）（調査）……陳　規懷（五八）
□インターナショナル・ノート……（六四）
□國内戰線……（六八）
□來年度歳出總豫算詳解（上）（講話）……佐々木三郎（七三）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

吾等の總選擧對策

一

われ等の政黨、無産階級の單一政黨（ただひとつのせいとう）、勞働農民黨は、十二月十二日第一回大會を東京に開くことゝなつた。

大會は、一日を以て了る豫定であり、なるべく圓滿なる討議を、黨本部は期待するものゝ如く、議案なども、この趣意に基いて決定されるやうである。

本部提出議案の、私案として新聞の傳ふるところによれば、黨費分納の件、議會對策、總選擧對策、規約並に綱領の一部改正、の四議案にとゞめるとの事である。右のうち、議會對策は、議會が解散となれば、直ちに總選擧對策に取つてかはるものであり、議會解散が、かなり確實となれる今日にあつては、始めて、階級的政戰にのぞむ、總選擧對策を以て最も重要な議題として審議しなければならぬと考へる。

二

しかるに、總選擧に對する、政戰の舞臺にのぼることは、始めてゞはあるが、大正十四年上半期に行はれた市町村議員選擧、並に今回の新選擧法のもとに施行された一部の市議選擧によつて、何程かの、語るべき諸經驗はある。

先づ、吾等の考察をこゝから、始めて見よう。

選擧綱領

1、農民組合（大正十四年）

イ、財政の整理、ロ、町村費賦課の改正、ハ、賦役廢止、ニ、村營事業には普通賃銀により村民を雇傭すること、ホ、部落財産入會權の現狀維持、ヘ、公共施設、ト、綱紀肅正（但し右は原則的のもので、各地の特殊の事情を考慮することが重要である）

2、政治研究會、（大正十四年）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一般的政綱、イ、町村有財産の利用並に處分の町村政を支配する少數有産階級の獨占にかゝる現狀の打破、ロ、國庫並に地方金庫より受領しつゝある各種の獎勵金補助金を一般町村民に開放して眞に必要なるもの〻爲めに使用せしむること、ハ、戸數割の割賦率を社會的に公正ならしめること、ニ、町村有財産より生ずる收益は、之を村税に移讓せず、社會的施設のために振り向けしめ止むを得ざるに於ては、無産階級の擔荷賦率を累進的に遞減せしめること、ホ、町村會、並に町村役場の徹底的綱紀振肅、

3、評議會濱松合同組合(大正十五年)

一般的スローガン、イ、議會の即時解散と新選擧法による選擧制の實施、ロ、團結權の確認、ハ、耕作權の確立。縣會に對するものイ、職工税撤廢、ロ、自轉車税撤廢。市會に對するものイ、戸數割附加税輕減、ロ、低廉市營住宅の設置、ハ、無料診療所の設置、ニ、無料宿泊所の設置、ホ、公會堂解放、ヘ、借地借家法制定

選擧運動

1、特別機關の設定、イ、各支部及び班に、對策委員會の設定。何々町村研究會の設立(政研)、ロ、勞農黨支部設置委員會設立。有權者大會(評議會濱松)

2、候補者決定の方法、イ、公認候補者は支部又は班の總會にて三分の二以上の賛成を得、本部の承認を經るを要す(政研)、ロ、小作組合側から出すためには、その人選をうまくやる事、決して勢力爭ひをして組合にヒゞを入れるやうな事があつてはならぬ。候補者の組合に於ける關係を聯合會に報告すること(農民組合)、ハ、同一の政綱を公約せしめ(發表)之れを公認候補とす(評議會濱松)

3、候補者無き場合、應援の運動を爲してはならぬ、政綱を示して、回答を求め、總會の決議によつて、適當の候補者を選定し、投票を爲す。絶對に棄權運動を爲してはならぬ(政研)

また組合評議會の、擴大中央委員會は、總選擧に對して、左の如き方針を決定してゐる。

1、ブルジョア議會の總選擧に參加する事、絶對に棄權すべきではない。それが爲に無産政黨、若くは準備委員會が共同に候補者を選定し、各團體が共同にこれを援助すること

2、一選擧區一候補の原則を取り、無産者同志の競爭を避けること

3、當選不可能の地方に於ても、宣傳候補者を立て、無産階級の投票を無産階級候補者に集中すること

4、全然候補者無き場合は、急進自由主義の候補者に無産階級の利益となる具體的條件の爲に戰ふことを公約せしめ、是に投票すること（例へば治安維持法の撤廢完全なる勞働組合法の獲得等の公約)「第五十一議會對策に關する決議のうちより」

三

以上だけでは、なほ不充分なるものがある。こりわけ、組合員(又は會員等)の投票率、政治的教育の効果――組織上の効果――公認候補の當選後の行動、選擧費用、選擧運動の實際的方法、團體的訓練、――幾何を動員し得らるゝか――ブルジョア候補ごの選擧協同等について

の、考察を必要となすも、ともかく、以上の生きた若干の資料は、始めて勞農黨が當面せんとする、總選擧對策決定の上に、有益なる指標たることを失はず、これによつて、取敢ずこゝに何程かの、對策を考究し得らるゝと信ずる。

準備的必要事項

有權者名簿の確定期日は、十二月二十日であるが、町村に於ける名簿作製は、九月十五日現在を以て行はれ、十一月五日より十五日間縦覽に供せられたるも、異議の申立ては右の縦覽期日内であるから、既に確定されたも同然で、今さらどうにもならぬが、議會の解散が十一月末であれば總選擧は年末、又十二月末であれば、總選擧は一月末、つまり解散後三十日以内に施行されるから、選擧準備は、今日直ちに取り掛らねばならぬ。

1、選擧區に跨る黨支部、同一選擧區内に二支部以上存在する地方は、黨員の合同、協同、整理又は臨時的機關を設定すること

2 選擧區内の有權者數、職業別、分布狀態、黨支部員及び無產又はプチブル團體所屬員、大工場勞働者の有權者の調査

3、區内の政治的狀勢、特に選擧團體——講會、職業組合、青年團、その他有力者の統制團體(その統制のもとにある小商人、無產者を切り崩す必要がある)等の調査

4、黨支部の動員計畫

5、演說會場——劇場、寺院、個人住宅、——等の、所有者の調査

6、選擧取締規則、俗解の講習會の開催、(官憲の干涉、壓迫は、甚しきものがあるであらうが、特に、規則を解しない點を利用して、選擧運動者を全滅せしめるやうなことも在るであらう)

黨各機關の選擧對策

特別機關として、本部並に支部に、選擧對策特別委員會を設定する。支部に於ては、或は現行の機關を上げて、かゝるものに變貨し、又は、特別委員會の範圍をせばめて、現行の專門部と策應し協同する方法によることもよからふ。要は、次ぎの如き任務を遂行し得らるゝならば良い、即ち特別委員會の任務。

●●總務、イ、庶務的事務の取扱。ロ、法律關係(違反者、檢束者救出事業)。ハ、黨各機關との聯絡。ニ、他の無產團體並にプチブル候補との、選擧ブロックの構成(必要により)に據る、ブル政黨との對立。ホ、情報蒐集——豫定票數、反對候補、官憲等。へ、紀律の警戒——幹部、運動員の行動にも注意せよ。

●●宣傳、イ、この統制のもとに、大規模の遊說隊の組織、ロ、宣傳ビラ、ポスター作製配布。ハ、演說會示威運動の指導、計畫。ニ、大衆的選擧團——有權者大會、後援會、政見批判同盟、等——黨支部の外殼として、此のことは、黨の現狀よりして特に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

重要である――の指導、動員。

●財政、イ、選擧費用の支出。ロ、寄附金募集。ハ、其他の方法に據る資金獲得運動。

●組織、イ、大衆的選擧團の、黨支部への再組織。ロ、新支部の組織。ハ、研究會その他による敎育的任務。

(選擧には、新らしい鬪士が現れ、又選擧後には、氣の拔けたビールのやうに散逸する)

候補者の選定

候補者の擁立はなるべく多くあり度い。但し

1、立候補するには、貳千圓又は同額の公債を供託し、選擧區内の有効投票數を議員の定數にて割つた數の十分の一に、自分の得票が達しないときには託供金を沒收される。

2、原則として一選擧區一人たること。

3、候補者は、なるべく勞働者又は農民を選むこと。

4、既成政黨に、かつて屬したるもの、又はプチブル候補は絶對に公認候補となさゞること、北海道、濱松の例に見よ。

5、同一選擧區内に、他の無産者的政黨又は團體の存在するところに於ては、候補者推薦會を開くことが望しい。

6、候補者の決定は、黨支部大會にて決定し、本部對策委員會の承認を要する。

候補者の無い場合

1、對策委員會の任務には、大體かはりは無いが、黨綱領の宣傳、ブル候補政見の批判暴露により、組織運動に集中しなければならぬ。

2、急進自由主義的候補者に、われ等の綱領を、つきつけて、其全部又は一部を容れ、無産階級のために鬪ふことを公約せしめ、支部大會の承認を得て、投票をのみ、これに集中すること、公認又は選擧運動を爲してはならぬ。

3、右の如く、投票候補者すら、得られない場合には、選擧當日、示威的行動を示し、且つ選擧場に到りて、白紙又は、候補者無き旨を記して投票を爲すこと(若し、議會解散の理由が、無産階級の利害に直接の關係を持つ場合には、政府黨又は反對黨候補に投票する必要のあることもあらふ)

吾等の綱領

當面の鬪爭指標が、××民主主義の獲得に置かれることはもちろんである。政研當初の綱領の如きも、こゝに出發せんとしたかの如くである。しかし用語などは、「××」かゝる印を附することを避けたものゝ如くなれど、近來は、用語、文體に到るまでが、全國的劃一主義に則るにあらざれば、日和見派に見ゆるものゝ如くに見ゆる。それ故に、繰り返えして云ふ。黨の指標は××民主々義の獲得に在る。

かくて、又その鬪爭題目は、總選擧に對應するものであり、協調的無産政黨と直接一般無産大衆のなかに在つて對應しなければならないだけに、なるべく、政治的階級對立の全線にわたつて、綱領の大綱を決定し、政治的暴露を重ね始めねばならぬ。

例へば、解散の理由――ブルジョア政

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

黨間の闘爭題目——が、朴烈又は松島事件に在るとすれば、之れを、司法、警察制度の徹底的革正の問題として、吾等の解決を與ふべく、逃がしてはならぬ。少なくも、次ぎの題目は採るべきであらふ。黨本部は大綱を大會にて決したならば、直ちにパンフレットとビラを作製して、具體的の説明と解決を、吾等と彼等に與えねばならぬ。

一、耕作權の確立、立毛差押、立入禁止の絶對反對。
二、團結權の確立。
三、言論、集會、出版、結社の自由。
四、眞正普選の要求。
五、税制の根本的整理國費分配の公正。
六、司法警察制度の徹底的革正。
七、婦人の差別的待遇の廢止。
八、廣東政府の承認。

四

然し乍ら、總選擧對策を考察するにあたり、黨にとつて、最も困難とするところは、選擧取締規則、出版法、その他を、不當に利用さるゝことに在るは言ふまでもないが、現行選擧法（之れを普選と呼んで、不用意にブルジョアの宣傳に乘るものがある）が、甚しく不利に出來てゐることである。或は一部には、候補者の當落は、問題では無いとの、意見さへおこつてゐると云ふが、問題では無いところか、大いに問題であつて、議會に、先づ黨の足を置かねば、黨の存立さえが危ぶまれるだけに、それは大いに問題であるが、現行の新選擧法は、左の諸點に於て、とくに不利である。選擧の實戰にのぞんで、吾等は、眞正普選の必要を切實に感得するであらふ。

1、眞正の普選で無い。婦人の選擧權を認めず、男子は、選擧權二十五歳被選擧權三十歳に制限されてゐる。

2、選擧權の資格に、一年以上同一町村に居住しなければならぬといふ制限がある。

3、選擧區制が中選擧區で小ひさ過ぎるのみか、地域の分割はブルジョア政黨の全くの御都合主義に出來てゐる。

4、投票期日が、公休でなく、時間も制限されてゐる。

5、立候補するには、貳千圓の保證金を要する。

6、演説會場に對する保證がなく、且つ屋外演説を許さない。（十一月十五日、薄茂人）

新政黨樹立促進會

一

勞農黨第三回中央委員會に於て、勞働總同盟は、黨の構成分子から評議會等四團體の排除を決議せしめて「單一政黨の夢破れ」と得意の色をみせたが、第四回中央委員會に於て門戸開放の提案が農民組合によつて爲されることに決定するや「永久に紀念さるべき發展の基石」を自己の功績によつて黨のために礎きし如く自負してゐた擬勢にも似ず、愴惶として脱退を決行した。十五年度大會に於て勞働黨の積極的支持を可決したのも、所謂共產派排斥を前提としてのものであつたが、「總同盟關係の中央委員が、こゝに斷然脱退する」ことを聲明するや、その理由も亦「黨の構成の重要分子たる農民組合とわが總同盟とが共產派排斥といふ根本的重大問題について意見を異にすることが明瞭になつたからである」（脱退聲明書）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「總同盟が勞農黨を脱退したことを以て不當なりとする論者を見受けるが（中略）總同盟が共産派と共同戰線を張ることの如何に無益にして無意味且つ無駄なるかは、過去の幾多の經驗の敎ふる所である。（中略）總同盟が勞農黨に留まることは有益無益なる黨中の内紛を限りなく繰り返すことになり、それだけ健實なる政治運動を後らすことになる。斯の如き内輪喧嘩に日を暮すよりは彼等との腐れ緣を絶つて、漸新の大地に健實なるコースを踏み出すことが我國勞働運動に對して、より忠實であると信ずる」（民衆新聞、第十一號。十一月一日）

勞農黨の總同盟化に失敗しての捨詞とより以外に此等の耳に響かないのを如何ともすることが出來ない。

勞農黨の大分裂を、當然の歸趨とみるか、現在この大分裂を生ぜしめたことを失敗とみるかは別の問題とし、第四回中央委員會は、從來、單一政黨主義の大義名分の前に、別個政黨の組織を氣象してゐた一派に、公然と新政黨樹立の機會と口實とを與ふるの結果を將來した。この新政黨組織の問題は、大分裂後の勞農黨が、如何なる基調と戰術の下に進むべきかの問題と共に我等の重大關心事である。私の論評は、こゝでは前者にのみ限られる。

二

先づ新政黨組織運動の、今日までの經過をみよう。

「（前略）勞農黨の組織は、一個の組合聯合であつて、未組織大衆及び中産下層分子に對して敢て門戸を開放しない譯ではないけれども、實際の問題として此等の分子の加入を困難ならしめた此等の分子の加入が少數だとすれば黨の大衆的發展を期することは頗る困難である。（中略）勞働組合並びに農民組合の立場からみるに現在の狀態からして組合が政黨の中心勢力となつて政治運動に沒入することは、組合の健實なる發展を阻害することは確だ。（中略）組合運動と政治運動とは或る程度の分業が必要だ。資本主義沒落のために組合運動發展の餘地がないから一切の無産階級運動を政治鬪爭に轉換すべしといふ共産派の主張は、革命的幻影に逆せ上つた妄論である。斯く考へるときに來るべき大衆的無産政黨の中心は組合に非ずして無産大衆の信頼を博する智識階級であることは議論の餘地はない。（中略）斯の如き輪廓によつて組織される政黨が我國の現狀に於て最も適合し、將來の發展性もあると思はれる。」（民衆新聞、第七一號、十一月一日）

これが新黨組織の根本方針である。「社會から其の向背を注目されつゝある勞働總同盟の幹部のこの意向」（同上）に從つて響の物に應ずるが如くあらはれたのが、十一月四日、安部、吉野、堀江三氏の連名を以て發表せられた「新政黨樹立促進に關する聲明書」である。

聲　明　書

普通選擧は實施せられた。既成政黨は國民の信望を失つてゐる。今や民衆を基礎とする堅實なる新政黨の出現は當然の歸趨なりと考へる。然して今日既に無産政黨を標榜するもの所在にこれ無きに非ずと雖も、吾人は之を以て眞に堅實なる基礎に立つ大

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

衆の結成と認むることは出來ない。然も吾人と志を同じうするものは天下到る處に澤山あり、かつひそかに、皆新大政黨の出現を待ち望んでゐる。吾人は（中略）この絶好の機運に乘じ理想的新政黨の誕生の産婆役としていさゝか犬馬の勞をとるは、國家社會のため無用の業に非ざるべしと信ずる。これ敢て廣く天下の同志に檄しその參同を乞ふ所以である。」

總同盟は、十一月四日、中央委員會に於て、右三氏の新政黨創立に協力するこごを決議した。

かねて「民衆黨」創立の志を懷き、周圍の諸事情のため一時停頓の狀態にあつた獨立勞働協會は、今次の新政黨樹立運動の中心の一であつて、十一月六日、滿場一致を以てこの新政黨促進會を積極的に支持するこごを今更らしく決したのは形式を踏んだに過ぎない。

右促進會は、十一月二十日、東京に於て會合を催す筈。この協議會に對する招待狀を發せられた主なる團體左の如し。

勞働總同盟、海員組合、海軍聯盟、市電自治會、司厨同盟、製陶同盟、官業總同盟、中部八幡共同研究會、武相聯盟、總聯合、中部交通聯盟、中部農民組合、大阪市電自助會、海員協會、誠和會、島根農民組合、工人クラブ、社會思想社、經濟學研究會、獨立勞働協會、鐵道從業員組合、消費組合聯盟等。

穩健な團體を選んで招待狀が發せられてゐる。しかし、右の諸團體が悉く促進會の豫想の如くしかく、穩健であるか否かは、興味ある一問題であらう。

三

新政黨樹立運動に、表ごなり裏ごなつて、事實上の主盟ごして協力しつゝあるは、獨立勞働協會と總同盟ごである。

さきに、獨立勞働協會が、今年八月、勞農黨の存在をよそにして、「民衆黨」樹立の計畫を立つるや、これを是認するものは曰く、

「獨立勞働協會の諸君が、廣く勤勞階級を糾合して新政黨を組織するに決したことは、最も注目に價する。彼等の目指す所は組織勞働者及び組織農民以外の一般勤勞階級である。（中略）現在の勞働農民黨に廣く一般勤勞階級を抱容せしめようとすることには聊か無理のあることを感ぜざるを得ない。」（民衆新聞。第五號。八月一日）

七月五日に開かれた獨立勞働協會の理事會に於ける民衆黨組織の理由の要旨は、單一政黨を作るこごは理想ごしては勿論異議のない問題であるが、（中略）出來るなら、勞働組合は勞働黨を、農民組合は農民黨をつくり、勞働協會の如き團體では一般勤勞階級の勢力を糾合するこごが肝要である。」ご。

民衆新聞（第五號）又、曰く、

若し一般勤勞階級を政治的に啓蒙し且つ組織する企が存在しないとすれば彼等の中の相當な部分に、或は既成政黨の喰ひものとなるか、或は反對派の操縦する所となるか、何れかに偏することは火を見るよりも明かである。」

故に、勤勞階級を、勤勞階級ごして獨立の政黨に組織するこごは、單一政黨實現のためにも、また、勤勞階級、小ブル

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ジョアを反對から防ぐためにも、必要である、といふ。

今こゝに問題とするは、斯の如き主張の當否についての檢討よりも、斯の如き主張によつてその運動を肯定されたこの民衆黨の計畫から、今次の新政黨への進展のうちにみられる總同盟の階級的後退の態度である。

新政黨計畫の事實上の主照者は、さきに述べた如く、獨立勞働協會こいふ智識階級の團體こ總同盟こである。こいふよりも、獨立勞働協會こ、總同盟を指導する幹部中の小ブルジョア分子この協力こみる方が眞 近いであらう。「勤勞階級は勤勞階級によつて民衆黨を、組織勞働者は組織勞働者を以て勞働黨を」この理論はおしげも無く捨てられて、「大衆の信頼を決するに足る智識階級を中心こして政黨を組織すれば、組織勞働者も喜んで傘下に馳せ參ずるであらう。組合員は、個人こしてこの政黨に加入することが好ましい」この新規な説得が開始された。

私は、こゝに、更に一歩の後退をみる。自ら組織勞働者を率ゐながら、勤勞階級々々こ大呼するこころに、その小ブルジョア性が明かに觀取されてゐた。今や組織勞働者をその中に引きづり込まんこするに至つて、更に一段の危險に臨まんこしてゐるのである。勤勞階級を反動派の操縱に委せざらんがために、勤勞階級自からの政黨を作るべきここを勸說したものが、今や組織勞働者を小ブルジョア的思想の指導の操縱に委ねしめんこしてゐる。「共産派の連中は、今度の新政黨は小ブルジョア黨だこ惡たいをたゝく」(民衆新聞、第十二號。十一月十五日)こいひ、或は一新政黨は社會主義の立場をこることによつて小ブルジョア政黨こ異り云々」(同上。新政黨の輪廓)こ辯解して、ブルジョア黨こ批難されることを無暗に氣にしてゐる樣子であるが、しかし、冷靜に客觀視して、新政黨が小ブルジョア的であることは、共産派の連中のみでなく萬人の一致して認めるところである。社會主義の立場をこる、こいふ理由だけで、それを小ブルジョア黨でないこの論據にしようこはあまりに理論が簡單すぎる。その「社會主義」の內容が明かにされるこき是の所謂社會主義の正體が曝露せられるのではあるまいか。無産階級運動の歷史は、如何に屢々小ブルジョアが社會主義の名を潛稱したかの事例を示してゐることか。

「社會主義の立場にたつ」こいひ、「事情によつては地方政黨の組織可なり」(こゝでの地方政黨は、全國的單一無産政黨に對比して用ゐられる)こいふ、我等はこれを、總同盟中の自覺し、或は自覺せんこしつゝある組合員大衆の僞瞞のため、或は鎭撫のための一時のがれの言葉であり方策であることより外に觀かたを持ち得ぬ。私は總同盟指導者中の小ブルジョア分子の今次の計畫こ、その正義的分子、その自覺しまた自覺せんこしつゝある組合員この關係が如何に展開されて行くかを熱心に注視せざるを得ない。

しかし、新政黨は、ついに生れるであらう。わが國無産階級解放運動の道は、この意識的右翼政黨の出現によつて益々多難を加へる。「現在の社會狀勢の下ではこの程度のものが適切だ」こ眞正直な考へて新政黨を支持する人々も、やがては現實主義の下にかくされたる。支配階級の毒々しいトゲに氣付かねばなるまい。

（一一、一五、黒田壽男）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無產政黨の諸分派の對立關係及びその前途の展望

大山郁夫

一

本誌の前號に於て私は、總同盟の脫退による勞農黨の分裂の場合を豫想しておいたが、幸か不幸か、それは事實となつて現れた。即ち同黨の第四回中央執行委員會に於て、總同盟を筆頭として　五團體が脫黨を決行したので、かねてから危惧されてゐた結果が、かくして遂に具體化されたのであつた。

この勞農黨の分裂が、無產政黨運動の前途の上に如何なる影響を及ぼすべきかについては、私は他の場所で一應私の意見を發表しておいたから、玆では特に議論の進行上必要と認められる諸點を除いては、一々それを繰り返すやうなことは、しないであらう。

だが、私が玆でも重ねて强調しておきたいことは、私は今回の勞農黨の分裂によつて、同黨の――及び同黨が代表して來た單一無產政黨主義の――前途を、決して悲觀してゐるものでない、といふ事である。歷史は一直線的に進行するものでなくて、辯證法的に展開するものだとすること、現在の分裂が將來の一層强大なる合同への前提でないとは、誰れに言へよう！　八十年前に於て既に、マルクス及びエンゲルスは、無產大衆を階級に――從つて政黨に――結成する組織は、勞働者側の上に於ける相剋によつて、分裂に分裂を重ねつゝ、究極に於て『不可測の大多數者の利益のための、不可測の大

多數者の運動」にまで進化するものであることを言つた。いづれにしても、最近に至つて漸く無產階級的政治行動への第一步を踏み出したばかりの勞農黨の陣容が一時的に多少の混亂に陷つたといつて、別に驚くに足るほどのことはない。いかにも、現在の我國の一般の無產政黨運動の上に於ける動搖は、支配階級の分裂政策がその主因となつてゐるものだといふことは、爭へない事實であるが、しかし、支配階級を強要してその分裂政策を採らしめたところの、資本主義の歷史的發展の現段階上の諸狀勢は、同時にまた無產階級へも高聲に呼びかけて、その共同戰線の完備を促し立てゝゐる。で、無產階級が一齊にそれに適應する行動へ急ぐか否かは、一に今後の無產大衆の階級的意識――もしくはその歷史的使命意識――の消長に繫がつてゐる問題だが、しかし現在のやうに支配階級の反動化的傾向及び資本の攻勢が顯著に漸增してゐる時代に於て、この上如何なる意味に於てでもの無產階級意識の減退しようなどゝは、我々には到底思ひも及ばないことである。だとすると、無產政黨運動の今日の停頓狀態が、そのまゝいつまでも固定したきりになつてしまふべきものでないことは、明かであらう。

二

かうした狀勢の下に於て、勞農黨は、それが現在までに漸く辿りついたその到着點を、直ちにそれの將來への新出發點として、そこからその政治的存立の第二期に入らうとしてゐるのである。その際に同黨が分裂によつてその勢力の相當量を失つたことは、一見恰かも同黨に取つて可なりの不利であつたやうに傍觀者の眼に映ずるかもしれないが、しかし實は決して一概にさうだとは言へないのである。我々は、從來絕えず同黨の煩累の種となつてゐた或る一部の右翼諸分子がその分裂を機として、それから離れて行つたことが、どれほど同黨を淨化したものであつたか知れないことを知つてゐる。殊に總同盟は、當初から地方政黨主義を標榜して政治運動に出發して、未だ一度もそれの拋棄を聲明しなかつたところから、常に勞農黨の單一無產政黨主義に水を向けて來たものであつただけでなく、それが例の門戶開放問題に關して採つた態度から見ても解かる通りに、勞農黨をして階級的政黨としての機能を充分に發揮せしめることを大部分不可能にしてゐたものであつた。それ故に、總同盟の脫退は、勞農黨にとつては、一種の厄拂ひとしての意味があるものとさへ、いふことも出來るのである。もつとも、總同盟の內部に於ても、現在既に正論派が現はれて、それの勞農黨からの脫退は、幹部が大會の意志を無視して獨斷專行したものだと稱して、それへの反對の烽火を擧げ始めてゐるやうである。我々はもとよ

り、この運動がどれほどの範圍に及んでゐるものであるかをも、またどれほどの効果を擧げようとしてゐるものであるかをも知らない。けれども、その運動のためにもせよ、またそれ以外の或る他の原因のためにもせよ、一旦決然と勞農黨と袖を別つた總同盟が、今後如何なる將來かに、同黨に復歸するやうなことがあるものとすれば、それは、總同盟が從來の行き懸りをすてゝ、無產階級的に鍛錬され淨化された上で、尙ほ單一無產政黨を最終的に承認した後のことでなければならないことだけは、安全に言ひ切ることが出來る。また、總同盟と同時に勞農黨から脫退した勞働總聯合、市電自治會、及び司厨同盟は、總同盟とは全然脫退理由を異にしてゐて、且つまた、脫退後も尙ほ依然として單一無產政黨主義を固執してゐることは、それらの三團體の聯合聲明書に徵しても解かる。我々はそれ故に、それらの三團體の單一無產政黨主義と、現勞農黨のそれとが、いつかは、再融合の日を見るであらうことを豫想することが、如何なる點から見ても何等の不合理のものでないことを信ずるものである。

いづれにしても、事件の推移は、勞農黨をして、無產政黨の諸分派中に在つて、無產階級的見地から見て最も正系的のものとならしめたことは、疑ふべくもない事實である。それは恰度、勞農黨が代表する單一無產政黨主義が、現下の帝國主義時代に於ける無產政黨の組織原理として最も正系的なものだといふ事實と照應してゐるものである。疑ひもなく勞農黨は、現在に於ては、無產政黨の諸分派中にあつて、最も難境に立つてゐる。がしかし、さういふことは、如何なる運動に於ても、最も正系的な道を行かうとしてゐるグループが、少くとも或る一時期に亘つては、如何にしても避けることが出來ない試錬の下に、同黨がおかれてゐるといふ事實の表象として見ることが出來るだけのものである。だとすると、同黨が一旦そこを切り拔けた後に於て如何なる希望ある前途によつて迎へられようとしてゐるかは、今日のうちから我々には略々見當がつくやうに考へられるのである。

三

若し我々が何かの拍子に、既成諸政黨と無產政黨とがそれぞれに現に歩みつゝある道を比較する機會を持つならば、我々は何よりも殊に、自然と滅び行かうとしてゐるものゝ暗い影と、新に興らうとしてゐるものゝ勢づいた姿との差異を、そこに明かに認めることが出來るであらう。既成諸政黨は、現在の社會に於て尙ほ優に支配的地位を占めてゐるブルジョアジーの政治的代表者であるに反して、無產政黨は、現在の社會の下積みになつてゐるプロレタリアートのそれである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

それにも拘らず、資本主義の歷史的發展が現在の段階に到達してから、それの最後の崩壞過程が部分的に各方面に現はれ始めたと同時に、それにつれてブルジョアジーの前途の光明が次第に薄れて行つてゐるやうに見えて來だしてゐて、しかもそれの少からざる一部分が既に充分に絕望的な頹廢狀態に陷つてさへゐることは、一般に世界的に見て顯著な一事實である。だとすると、今日既成諸政黨が一般に手のつけやうのない程の混亂狀態に陷つてゐることが、殊に我國の政界にその最も極端な現はれを見せてゐるのも、決して理由のないことではない、といへるのである。だがプロレタリアートはそれに反して、特に世界大戰後の今日ほど、それ自身の社會的創造力若しくは建設力の自信を獲得して來たことは、過去に於て未だ曾て例のなかつたことである。實際上、プロレタリアートの歷史的使命意識は、現在漸くそれの最後の冬眠狀態から蘇つて來たばかりでなく、今後益々盛に明確化して來ようとしてゐるのである。この意味に於て、プロレタリアートは、現代社會に於て、最も多望な未來を約束されてゐることを現實的に感じてゐる階級だといへるのである。從つて、まだそれの無力な原始狀態を脫しきれない無產政黨の前途の輝々やかしい展望も、結局はそこから來てゐるものに外ならないのである。兎にも角にも我々は、かうした視角から見て、今日の一切の政治的諸勢力中、ひとり無產政黨だけが『未來は我々に屬する』といふことを叫ぶ資格を持つてゐるものであるといふことが出來るのである。

　けれども、かういふことは、たゞ概括的に無產政黨に關して言ひ得られることではあるが、しかし同時にそれは、無產政黨の諸分派の一つ一つについては、一樣の妥當性を以て言ひ得られることとは限らないのである。勞農黨が分裂した今日に於て、我が現在——及び現在から比較的正確に展望し得られる限りの將來——に於ける無產政黨の諸分派としては、勞農黨の外に、勞農黨の分裂の日から約一週間ほど前に成立した日本農民黨、幷に、近き將來に於て日本勞働總同盟の支持（若しくは指揮）の下に結成されようとしてゐる民衆黨を擧げることが出來る。で、我々は次にしばらく、それらの無產政黨の諸分派について、無產階級的見地から見て、何れが最も多望なる前途を持つ可能性のあるものとすべきかの問題を、簡單に考察してみようと思ふ。いふまでもなく、この問題は、それらの何れが、現在に於て、無產階級的立場から最も純粹に肯定されるべき傾向を代表してゐるかの問題に歸着する筈のものである。といふのは、さうした傾向を代表してゐるもののみが、究極に於て、最も多く無產大衆を獲得する基礎的條件を具備してゐるものと見られ得べき筈のものだからである。

四

これらの無産政黨の諸分派中、何れが如何なる傾向を代表しようとしてゐるかを知らうとすれば、今日のところでは我々は、各分派の成立の由來と、その宣言、綱領、及び政策等の上に現はれてゐる聲明とを比較する手段によるより外に途がない樣に思ふ。で、我々の着眼點をそこに置いた上で、先づ第一に日本農民黨を見ると、同黨は初めから農民と工場勞働者との間の利害關係の相違點を極端に强調する立場から、單一無産政黨主義を否認して掛つたものである。かくて同黨は、現在の帝國主義時代に於ける地主及び資本家側が共同戰線の上に結合してゐる事實を無視して、無産階級の陣營内に於ける階級的團結を攪亂することを意としなかつたのである。現在に於て農民と工場勞働者との間に顯著なる利害關係の相違點が少からず存してゐる事實は、誰れにでも認められてゐることであるが、しかし、それと同時に、現在のやうに資本主義の歷史的發展が帝國主義の段階に到達してゐて、そこに「資本の攻勢」が未曾有の鋭鋒を示して居る時代に於ては、大小輕重の差がそれと比較にならない他の重要諸問題が實在してゐるといふことも、決して忘れられてはならないことである。のみならず、無産階級の政權獲得の期待が實現された將來のことは暫く言はないことにして、單に現在の狀勢だけについて言つても、農民と工場勞働者との間の利害關係の相違點を無産政黨の陣營内で協調的に整理することによつて得た主張を提げて、既成諸政黨を向ふに廻はして、それの貫徹を計ることの方が、無産階級に屬する範圍内の農民の利害關係を、地主や資本家側の利害關係を代表する既成諸政黨との協調によつて改善しようとすることよりも、同樣に困難なことゝ言つても、しかもどれほど成功の見込の多かるべきものであるかは、容易に看取されるべき筈のことである。それにも拘らず、同黨が無産階級の陣營内に於ける階級的協調を拒んでゐることを見れば、縱し屢々噂されてゐる通りの同黨と政友會との野合的關係が全然事實無根だとするも、同黨が無産階級の陣營内の攪亂者となることを厭はない意向を持つてゐることは明白だとしなければならぬ。從つて、同黨が公衆に向つて發表した宣言中に、勞農黨をさして「矯激なる直譯的共産黨的色彩」を濃厚に帶びてゐるものだなどゝ、官憲と聲を合はせて言ひ立てゝ居ることも、實はそこから來てゐるものとされても、同黨に於て一言半句の辯解の餘地がないものとしなければならぬ。

更らにまた同黨が、極力階級的立場から逃避して、從つてその綱領中に於ても、「農村文化の樹立」の項目の下に、都會と農村との間の文化鬪爭といつたやうな假設的事象を强調することによつて、階級鬪爭の現實的事象をぼやかさうとして

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ゐることや、『社會正義の實現を期す』といつたやうな、內容の茫漠として掴みどころのないものを掲げて、階級鬪爭を超越した人道主義的主張と見られるものを掲げてゐるやうなことなどは、どこから見ても、帝國主義時代下の無產大衆の階級的要求とは、少しも共通點の見られないものだとしなければならないものである。この點に於ても我々は、それはいくら好意的に見ても、エンゲルスの所謂、人類の解放を通じて無產階級の解放を圖ることを企てるだけで、無產階級の解放を通じて人類の解放を圖ることを顧みないものとしたところの、空想的社會主義の立場を出ない程の時代錯誤に陷つてゐるものだといはなければならないのである。

否、同黨の階級を裏切る態度は、たゞそれだけに止まらないで、そこから尙ほ一步を進めて、或ひは勤勞階級に媚びを送り、或ひは更らに一層水準を下げて、ブルジョア一流の國民主義若しくは祖國主義と提携しようとする意氣込を見せるまでの低調を示してゐるのである。それに關して我々は、レニンの所謂、『ブロック●ナショナール——勞働諸團體とブルジョアジーとの、社會主義者たちと反動主義者たちとの、羊と狼との國民的聯合』云々の文句を思ひ浮べないではゐられない。兎も角我々は、かうした主張を持つ同黨を無產政黨の一分派として認めることさへ、躊躇する氣持になるのである。

五

今回勞農黨から脫退した總同盟の內部にも、どれほどか正論派のあることは、我々が既に認めた通りであるが、しかしそれの幹部が示した態度は、日本農民黨の態度と大差がないやうである。だとして見ると、從來、總同盟幹部が日本農民黨に對して、相當に好意を示して來たのも、決して理由がないことではない、といはねばならぬ。また、總同盟の勞農黨脫退理由が、例の『共產黨系排除』にあつたことも、同じ根據から來たものであることは明白である。

その總同盟の支持（若しくは指揮）の下に近き將來に於て成立せしめられようとしてゐる民衆黨が、他の如何なる性質を持つものであらうとも、階級的政黨としての性質を持つものでないであらうことだけは、明白である。のみならず、この民衆黨は、少くとも表面上は、或る一二の思想團體、及び知識階級中の知名の人々を先頭に立てゝ打つて出ようとしてゐるやうにいはれてゐるが、さうだとすると、それは縱し『直譯的共產黨的色彩』を濃厚に帶びる最後のものであつても、日本農民黨と同樣に『小市民階級的臭味』を強烈に伴ふものに相違ないとはいへよう。我々は、無產政黨中に、小市民階級の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人々を包容する餘地も必要も多くあることを認めることにかけては、決して人後に落ちるものではないが、しかしそれは、無産階級の立場を正當と認めた上で、小市民階級からそこに來り投ずる人々に關聯していふのであつて、從つてそれは決して、無産政黨の主張を小市民階級の限局された社會觀にまで引き下げよ、といふことを意味するのではないのである。

民衆黨が小市民階級的限局性の中に押し籠められた政黨として産み出されようとしてゐるのは、例の『自由主義』の必要の認識からであらうとは、我々にも容易に想像し得られる。無論、無産階級的立場からも現在に於て『自由獲得』の要求が異常に痛切に感じられてゐることは事實である。そしてそれは、治安維持法の如き惡法が現在でも無産階級に對する絶大なる脅威としての實效を發揮してゐるといふ一事實だけによつても、肯定されるべき根據を持つてゐる。だが、現在無産階級が獲得しようとしてゐる『自由』は、どこまでも無産階級的意味に於ける自由である。で、それは一樣に『自由』と呼ばれても、小市民階級的自由とは根本的に相違してゐるものであることは、私が一再ならず本誌で論じて來た通りである。一般に代表的小市民階級者のイデオロギーが、無産階級のイデオロギーと相容れない諸要素を持つてゐることは、茲で特に取り立てゝいふまでもないことであるが、しかし我々は茲で、最近に於ける學生檢擧事件を中心として、社會科學の研究の『自由』の問題に關して、多くの學者教授たちによつて與へられた批判の上に、それの非常に適切な實例と見られるものが可なり多く見出されたことを注意しておきたい。私は今、該問題に關する彼等の批判の中に發見される幾多の珍論異説を茲で紹介しようとしてゐるものではないが、しかし少くとも私は私が雜誌『改造』の十二月號に寄せた『無批判的批判の批判』といふ論文に於て、それらのうちの數例を摘んで縱横に解剖しておいたことに、讀者たちの注意を向けたいのである。兎に角私は、かういふ基礎の上から、小市民階級中の代表的學者の思想家論客たちを昇いで來て、その先頭に押し立てようとしてゐる民衆黨が、無産階級理論から見て無條件的に肯定し得られるものであるか否かの判斷が、既に讀者の腦裡に於て完全に作られてゐるものであることを信じるのである。

勞働農民黨のことに關しては、茲で改めて言はないことにするが、同黨が前に言つた通りに、無産政黨の正系的のものとしての活動を一日も早く有效に開始するやうになるであらうことは、我々の切望に堪へないことである。が、唯一つ氣掛りになることは、同黨が政府當局の非立憲的な獨裁ぶりの犧牲となつて、解散の運命を見ないにも限らない危險がある、といふ一事である。けれどもそれは、同黨及び同黨に多大の希望を繋いでゐるものとして考へられてゐる無産階級の陣營内の諸分子が適當なる手段を誤らない限り、全然避け得られないことでもないやうに考へられる。で我々は結局、勞農黨が首尾よくその難關を切り拔けて、それの多望なる前途へ入るであらうことを、多數の讀者たちと共に期待しようとしてゐるものである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

總同盟幹部の無氣力。主義に對する無確信。

（勞働農民黨脱退に付て）

細迫兼光

（一）

勞働農民黨は、その第四回中央執行委員會に於て、遂に總同盟外四團體關係の中央執行委員の脱退を見た。此れに續いてその委員達の指導の下にある勞働農民黨の支部も脱退するであらう。然し乍ら其の支部は總同盟系の城北、足尾、此花、西淀川、及び官業系の東大阪、並に大阪總聯合系の東淀川の六支部に過ぎず、當時の屆出支部七十一に對して、誠に「一割に滿たず、これが爲め我黨の基礎は毫も動搖を見る事なし」である。

然し乍ら勞働農民黨は、日本農民組合の、兎角農民のみに依つて進まふとする傾向ある農民團體たる日本農民組合の、全日本の農民と勞働者及び一般無産大衆の政治的勢力を結成し、ブルジョア政治の根底を衝かんとした、誠に出來すぎた、殊勝な考によつて提唱せられて出來上つたものである。右翼は勿論左翼ら中間も、苟しくも無産者として政治的欲求の實現を計らんとする者の一大團結の實現を　したものであつた。此の考は間違つてゐない。左翼にしても、現在無産政黨は如何なる任務を持つものか、如何なる綱領を掲ぐべきものか、如何なる行動をなすべきかに付いて、如何なる限度が置かれてあるか位の事は判つて居る筈、その限度たるや、恐らく、總同盟が作り上げやうとする政黨が掲げるであらう政綱の程度にある事は、何人と雖も容易に見得る處である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

即ち此の程度に於ての全無產階級の政治的協同戰線は誠に理論上正當な事である。此の理論の上に立つての農民組合は、總同盟等の右翼ヶ失ふ事を悲しんだ、それが爲めに勞働農民黨の過去に於て色々こ苦心もし讓歩もした。誠に涙ぐましき努力であつた。然し遂に今日それを失つたのである。如何に黨こしての支部を失つた數は少なかつたにせよ、此の殊勝な努力の酬いられなかつた事は悲しむべき事であるに相違ない。

(二)

日本農民組合の如き、生れて間もない後進組合、一般に保守的傾向を持つ農民の團體が、何故、有力なる右翼にも恐れず、精悍なる左翼にも恐れず、此の無產階級政黨こしての正道に、全無產階級を糾合せん事を企畫したか。或は見る者に依つては誠に狂氣の沙汰かも知れない。然し決して狂氣してはゐない。彼は唯自己の力こ自己の信念に確信を持つてゐたのである。

或は全國的單一政黨の絕望を叫び、或は門戶の閉鎖を叫び、而してそれが右翼なりこ呼び慣らはされてゐる今日、敢然こして全國的單一政黨を叫び門戶の開放を叫ぶ時、あれは左翼なり、あれは「共產派」なりこ見られる事も、あながち無理もない話であるが、決して、全國的か地方的か、門戶の閉鎖か開放かの問題を以て、右翼左翼の別を立つるのは早計である。

數次言ひし如く、農民は保守的で、都市勞働者この提携を嫌ふ傾向がある、日本農民組合はその農民の組織團體であるのである。成る程今農民組合内部には、指屈り數へれば意識的左翼のないではない。而して成る程、それ等の人は勇敢に實戰に臨み、よく農民の利益の獲得に成績を擧け、爲めに農民の信賴こ支持を受けてゐる者が多い。さればこそ由來保守的な農民を、殊勝なる企畫にまで持ち上げる事に協力が出來たのである。然し、一旦彼等が農民の利益の現實を離れる時には彼等の指導も、よく農民を動かす事は出來ない。農民大衆を後に殘して自分一人の旅をしなければならない。此の事

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は、ほんとうに左翼の精神に徹底した者には判然過ぎる程判然な事である。故に苟くも眞實の左翼は農民の現實要求を無視しない筈である。而して農民の現實要求には限度がある、此の事は直ちに左翼分子の行動に限界を限定する。自制を強要する。故に農民組合は、たとへ指を屈する左翼分子が介在しやうとも、組合それ自身は決して左翼でも「共產派」でもありはしない。あり得ない。右翼といはうか、精々中間派じある。

此の右翼若しくは中間派たる農民組合が、かの全國的單一政黨、門戸開放を叫んだ所以は何處にあるか、曰く、自己の力と自己の信念に確信を持つてゐたからである。

勿論、全國的單一政黨、門戸開放は、左翼分子の混入を意味する。然し乍ら、自己の抱持する主義と精神とが全無產階級解放の爲めに正しきもの也との信念、確固たるものあるが故に、之の己が正しき主義精神を、之れに反する主義精神を抱持し、又は行動する反對者の上にまで覆冠させねばならぬ、それが全無產階級に對する義務である、といふ、自己の主義精神の正しき事に對する自信と、全無產階級解放に對する熱意とを持ち、而してそれを爲し得る力の自信とが、此の斷乎たる態度を持續せしめたものである。

(三)

後進の農民組合ですら、政黨問題に就いて、あの樣な態度を取り得たのに、指導的勞働組合を以て任ずる總同盟が、なぜあの樣な、逃げ腰の、排他的の態度を執つたのか。

勿論已に反逆して行つた評議會に對する憎惡もあるであらう。然し今、日本農民組合は、已に反逆して出て行つた平野一派の醜類が、合同を申込み或は共同戰線を申込めば、恐らく、之に應ずるだらう。何故であるか、曰く、自己の信念の正しきと、全無產階級解放の熱意と、自己の力の、よく反對者を壓し、反對者をして正道に導き入れる力ある事を自信する事固きが爲めである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

然るに、總同盟幹部は、なぜ、あの樣な逃げ腰の排他的態度を執つたのか。

それは、總同盟幹部に、自己の主義主張の正しきもの也との信念に缺くる處あり、全無産階級の利害を度外視し、自己の力に對する確信のなかつた爲めに外ならない。

否、といふだらう。自己の主義主張の正しき事を確信す、といふだらう。

然らば何故、逃げるのか。正しきものは終局に常に勝つ。決して逃げる必要はない。戰つて戰つて、戰い勝つべきである。正しき主義主張なら、それが終には、勞働農民黨の內部に於てゞも、勝利を占むるものとは思はないのか、

全無産階級の利害を度外視しはしない、といふだらう。

然らば何故、總同盟幹部諸君の考を以てすれば間違つた考を持つ者を——而してそれが今や全國各地の七十餘支部を支配せんとしつゝあるのを見捨てるのか、已の正しと信ずる考を以て、反對派の主張を屈服せしめ全無産階級に已の正しき主張を覆冠せしめやうとはしないのだ、間違つたものを間違はしめよといふのか、間違つたものが少數ならばよろしい。然し今や、その間違つた(總同盟幹部の考によれば)主張の下に全國各地に大衆が集結されやうとするではないか。これを見捨てゝ、獨已が純正を(總同盟幹部の考によれば)保ち、居心地よき樓閣に閉ぢ籠らうとする狀態を以て、如何に强辯するとも、全無産階級を已が把持する正しき主張の下に、無産階級の正道に導き返す努力を爲しつゝあるものとは言はれまい。

自己の力に對する確信を持つといふのか。

然らば何故、進んで戰つて、打ち勝つ方策に出ないのだ、「農民組合とわが總同盟とは、共産派排除といふ根本的重大なる問題につき、その意見を異にする事が明瞭となつたので…………脫退するに至つた」などゝ弱音を吐くのだ、中央執行委員の數を數へて見るがよい。弱音を吐かないで壓倒しやうと思へば出來るではないか。數に於て勝つ見込があつても、尙ほ逃げ腰を張つたのは、たとへ中央執行委員會に於て多數を制しても、到底無産大衆の支持の得難きを見越したの

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

か、爭ふ事のウルサキを避け、退いて己が小我に立籠るの、君子の道たるを悟つたのか。或は別に官憲の應援を得て戰ふの得策たるを悟つたのか。

無產階級解放の運動は戰の運動である。戰を避けて何物が殘る。若し官憲の應援を得て反對派に對する如き事あらば、我亦何をか云はん、無產階級の共に齒するを忍びない處である。

（四）

無產階級解放の運動は戰の運動である。私は勞働農民黨に於ては唯だ一の事務員に過ぎない。誠に力弱き一若輩である。よく其の力ありとは放言し得ないけれど、然し己の信念の正しき事と、必ずや己が信念の實現さるべき事と、己が信念が、やがては全無產階級の採る處となる事を深くも確信するものである。而して戰である。無產階級の政治的大同團結の期待を裏切り、態々我が勞働農民黨に楯つくべき態度をとる者とは、力のあらん限り戰はなくてはならない。

それは内たると外たるとを問はない。團體を作る以上、作る初めから相違した意見のある事は既に豫定せられなければならぬ事實である。目が行き屆かないから或は反動思想家も入つて來るかも知れない、或は熱病的小兒病左翼も入つて來ないとも限らない。入つて來ないとしても將來黨内に釀成せられないとは限らない。其の時は戰だ、決して戰は辭しない覺悟である。然し此れが爲めに全無產階級の大同團結の原理を覆す樣な事は斷じてやらない。然し戰は飽くまで戰ふ。

私は斯く毒付き乍らも、深くひそかに、胸の淋しさを感じつゝある事を白狀しなければならない。

總同盟には、かつて私も籍を置いてゐた。今又必ずしも反感のみではない。總同盟は私の最も關心してゐた組合である。その幹部諸君とは多年の交誼斷ち難きものを感ずる。畏敬する多くの先輩を其所に持つ。到底仇敵として刄を合すに忍びないものがある。「再び我等と力を一にする日の近からむ事を切に希望する」事が實現したら、どんなに嬉しい事だらうか。

戰を覺悟しながら尙此の苦惱のある、蓋し又戰士の情であらうか。

（十一月九日夜、所定らぬ身を友人の宿に托して）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞働農民黨支部と黨員數

現在設立されてゐる支部數は八十近くあるが、本部承認の支部は三十六支部會員六千五百名で、他四十支部は屆出未了、黨費未納等の爲めに正式に承認されてゐない。

承認支部

新潟縣支部聯合會
新潟市(五三)西蒲原(五五)南蒲原(一七〇)中蒲原(二四一)北蒲原(二三七)計七五六

奈良縣支部聯合會
生駒(五〇)北葛城(一二〇)高市郡(五二)計二二二

香川縣支部聯合會
坂本(五〇)栃木(五〇)長尾(五〇)富田(五〇)平井(五〇)瀧宮(五〇)計三〇〇

秋田縣支部聯合會
南秋田(二八五)雄平(二五四)計五三九

兵庫縣聯合會
西播(三一九)但馬(一〇二)計四二一

京都府聯合會
城南(一五〇)洛西(五五)丹波(五〇)計二一〇

東京府聯合會
荏原郡(一〇二九)城西(一八二)東京中部(八一)同北部(六〇)江東(六一九)城南(五八〇)城東(一四八)計二七〇〇

單獨支部
千葉夷隅(六〇)千葉(八三)足尾(七〇〇)強戸(二三〇)此花區(一〇〇)西淀川(一〇〇)北攝(五〇)南信(一一〇)計一四三
三總計六五八一

未承認支部

三重縣支部聯合會
松阪(六〇)神戸(五〇)上御糸(五九)中原(五二)直屬(一四四)

北海道支部聯合會
函館(一三〇)札幌(八七)旭川(五〇)

福岡縣支部聯合會
戸畑(一五〇)福岡(一八〇)黒崎(一〇〇)大牟田(五〇)三井郡(二〇〇)上穗波(五〇)稻築(八〇)二瀬(五〇)桂川(一〇〇)

山陰支部聯合會
西伯(三六一)東伯(五〇)島根(五二)

香川縣聯合會內
高篠(六〇)象郷(五〇)財田(五〇)丸龜(一一〇)

秋田縣聯合會內
北秋田(一九二)小坂(二五一)花輪(一二八)由利郡(一一三)

東京府聯合會內
城北(一〇〇)

兵庫縣聯合會內
神戸(二〇五)

京都府聯合會內
京都(一一八)

單獨支部
岡山(二五〇)宇和島(六一)松山(五二)東成區(五〇)淡路(五〇)東淀川(六三〇)東大阪(三五四)泉州(一〇〇)西大阪(一二〇)岡山淺口(二五〇)盛岡(一二〇)稗和(九〇)

黨員不明のもの
中信支部、駿豆支部、撫養支部、久留米支部、岡山赤磐支部

尙近く發會するもの
横濱、北信、青森、宮城塩川、德島、鹿兒島、熊本、佐賀、愛知、京濱、北海道小樽、室蘭、釧路、靜岡

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本鑛夫組合當面の任務

黑川悟朗

一

日本に於ける唯一の無産政黨であつた勞農黨は、右翼幹部の策動に逢つて遂に分裂した。今後、此等分裂策動幹部共が如何なる方法で黨組織をやるかは注目すべきだが、更に此の右翼幹部の下にある左翼乃至中間派左翼がドンナ態度を採るかは一層注目せねばならぬ事だ。私は今、代表的な右翼團體たる勞働總同盟内にあつて今迄、中間派左翼の主張を唱へてきた日本鑛夫組合の態度に就て一言述べて見たい。勿論、私は此問題に就て述べる適任者だこは思ふてゐない。併し、現下重大な時機に當り鑛夫組合の態度に就て一言も發せられないことを遺憾に思ひ、敢て此問題を提出し、鑛夫組合幹部の意向は勿論、其他一般の討論を聞きたいのである。

二

吾々が凡て團體にしろ、個人にしろ之を判斷するには、その團體なり個人の主張と行動によつてするより外はない。日本鑛夫組合が公然とその態度を聲明したのは昨年十月に開催された第一同の全國委員會に於て判然ご見ることが出

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

來るこ思ふ。此の全國委員會は同組合にこつて實に意義深きものであつてその宣言の骨子たるべきものは(一)、産業別による全國的組合總聯合の結成(二)、全國的階級的單一無産政黨の實現(三)、國際勞働運動上に於ける戰線の統一(四)、鑛山勞働者の階級的敎化訓練及組織等であつた。更に「全國的總聯合問題に對する態度」と「無産政黨に對する態度」に就ては別に議決され中間派こしての態度を示してゐる。かくて同組合は此の態度を以て昨年の總同盟大會に臨み、その主張を高唱した。然るに、その後、鑛夫組合は此等の問題を總同盟幹部に任かし切りに任かして殆んご積極的に行動はしなかつた。そればかりでなく、總同盟幹部が明かに階級的裏切りをなしたことに就ても一言半句の抗議も聞かされてゐない。之は中間派左翼を以て任ずる鑛夫組合こしては餘りに無氣力ではなからうか。或者は云ふであらう、鑛夫組合は總同盟の政策に基いて行動せねばならぬこ。勿論それには異議はないが、全國的單一産業別團體こして總聯合を主張し、單一政黨を主張してきたものが、右翼幹部の政策に對して、その主張を遠慮すべきでない。過ぐる本年の總同盟の大會に於ても積極的に組合の態度を表明し、明かに右翼幹部こ抗爭すべきであつた。然るに鑛夫組合こしては同大會に對しては積極的に何もしなかつたこのことである。吾々は鑛夫組合が昨年の總同盟大會以來、單獨の機關紙「鑛山勞働者」を失つたため同組合だけの主張がいづれにあるか一寸判らない。たゞ總同盟幹部に氣兼ねして何も云ひ得ない様な態度を見せつけられるだけだ。吾々は此點を判然せらるゝことを同組合幹部に望んでやまない。

三

鑛夫組合現下の態度こ合せて考へられることは昨年の分裂當時に於ける同組合幹部の意見だ。當時の總同盟こ評議會の對立を都會の勞働者の喧嘩騷ぎだこし鑛山の勞働者には一向關係のない問題の様に取扱つたのだ。そして、ドッチにも當り、さわりの無い様に、喧嘩兩成敗の考で分裂騷ぎを見てきたのだ。之等は凡て總同盟幹部に對する遠慮からでないかこ察せられる。中間派左翼こして行動するならばもつこ物事を階級的に觀、階級的に行動すべきではなからうか。吾々は鑛山運動史上に於て、現總同盟右翼幹部たる鈴木文治氏や麻生久氏等の貢獻の大なりしことを認め、その功績を賞讚する。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

若し鑛夫組合の幹部が之等の個人的關係で其主張を遠慮し差控ゐてゐるならば眞の階級的大衆運動をザボッテゐるものである。

更に、吾々は正直に云つて、鑛夫組合の實勢力の微弱なることを充分承知してゐる。一般的に微弱な點ばかりでなしに總同盟内にあつても微弱な勢力だと云ふことを認めない譯には行かぬ。本年の全國大會に於ける代議員數は總數二六四名に對して僅かに十二名だ、即ち四分五厘の力しか持つてゐないのだ。此點から見れば、鑛夫組合の實力が足らないために思ふ様な活動が出來ないのかも知れない。

併し、力が足りなければ足りないだけで、現在の力の範圍内にやれば充分である。何を云ふも、日本の唯一の鑛山勞働者の團體たる同組合が單に力が足りないからと云ふ理由で全國的階級運動をサボッてゐる譯には行くまい。

更らに吾々は鑛山運動の困難と苦痛の多いのを知つてゐる。今迄の歴史が如何に陰惨極まる鬪爭を續けてきたかを如實に物語つてゐる。そして現在の同組合が組織の點に全力を注がねばならぬことは他の産業の勞働者以上に必要である。それがためには昨年の全國委員會の宣言の最後に於て「吾等はこの所信に立つて鑛山勞働者の階級的敎化、訓練組織 努力すべきを誓ふものである」と結んであり、尙ほ單一政黨組織に當つても組織運動を忘れず、之を第一義として運動することを申合せしてゐる。組合がその組合運動に主力を注ぐべき必要のあることは云ふまでもない。併しそれがためにその組合の主張する「全國的組合總聯合の問題」や「單一政黨の主張」の實行を差控へるべきものではない。積極的に參加することによつて始めて名實共に組合の意義がある譯だ。

四

以上、簡單ながら、出來得るだけの理由を調べてみた。併し、どの理由にもせよ、現在の重大時機にサボルことを認める譯には行かない。勿論此の以外に理由があるものとせば同組合の意見を知り度いものである。

いづれにせよ、鑛夫組合は今迄の消極的の態度を捨てゝ奮然立つて、その力の及ぶかぎり、その主張を高唱すべきである。總同盟内にあるから總同盟幹部の前を遠慮し、右翼幹部の我儘を默認すべきではない。鑛夫組合は從來の立場たる中間的態度をもつて全國的單一組合としての活動をなすべきで、外部的一切の問題を總同盟幹部に任かすべきではない。

此の意味から鑛夫組合は單獨としても全國的單一政黨たる勞農黨を積極的に支持すべきである。更らに全國的組合總聯合の問題に對しても、中間派として積極的に運動をなすべきである。

宣言

一

本會創立以來茲に六ヶ年其間闘爭に亞ぐに闘爭を以てし日も之れ足りない有様であつた。幾度か全國大會の開催を企圖すると雖も遂にその意術を果たす日なくして今日に至つたのである。今日規模大ならずと雖も全國委員會の開催を見たるは嚴肅なる階級對立の鑛山地帶に戰火の洗禮を受けて苦闘の體驗を有するもののみの昧はひ得る喜びである。

二

勞働者階級と資本家階級とは階級的に相對立して、絕對に利害を異にする、從つて彼等の攻擊に對抗して吾等の利益を擁護するためにはたゞ彼等との闘爭あるのみである。而してこの闘爭を最も有効に行ひ、これを最後の勝利に導くためには吾等は先づ吾等の勢力の增大とその勢力の集中統一とを計らねばならぬ。

本會は產業別組合としての組織形態を有する點に於ては、產業別整理、集中合同の整理に努力しつゝある。他の組合の執範たるべしと雖も、其現實に占める、數計的勢力に至りては、極めて微弱なるを免れないのである。これ吾等の充分の戒心を要する點である。

吾等が當面する階級的共同戰線の統一の具體的問題は二つある。一は勞働組合の全國的總聯合の問題であり、一は無產政黨の問題である。勞働組合の全國的總聯合の問題は、一度失敗の經驗を有すると雖も、その欲求が不斷に、吾等の間に叫ばるか！如何に總聯合が全勞働階級の間に切實なる欲求であるかを語るに足る證據である。

吾等は階級的强力のために勞働組合の戰線の整理統一のために此の總聯合の創成を衷心から冀ふ。而して吾等もその成立のために協力を惜むものではない。然しながら吾等は其の前提要件として現在の各組合の產業別整理が行はれなければならぬものと信ずる。各組合が虛心怛懷產業別に整理合同した上でなくては强力なる總聯合の組織の可能は乏しいと云はなければならない。總聯合が全勞働階級の切實なる欲求である限り必ず其の實現を見るべきは疑ひないが、然もその速度はその前提條件たる產業別整理の發達の如何に繫かつて存するのである。

三

無產政黨の問題に對する吾等の態度は斷乎として決定してゐる。卽ち萬難を排して階級的に政治闘爭の基根としての政黨を構成しなければならないと。卽ち吾々の個々の日常闘爭を階級闘爭に發展せしめるために、是非とも階級的結晶としての政黨も構成しなければならないのである。

吾等は理論的純化に缺けるにもせよ現實に强大な勢力を有する無產政黨の出現を豫想し得るやうな組織を考へなくてはならない。全國的單一無產政黨の主張は決して理論的推理の滿足に陶醉せんがための叫びでなく、現實に政治的に無產階級の有力なる結合を見んための切實なる欲求であるのだ。

今や政黨問題に對する準備委員會は着々として進行しつゝある。吾等は階級的互讓によりて政黨創成の悦びを一般勞働大衆と共に昧はふべく衷心から希望するのである。

四

更に勞働運動の國際的發展は資本主義發達の影像として必然的である。然しながら今日の國際的勞働運動の戰線は數個に分立してその何れに參加すべきかを容易に決定し難き事情にある。吾等はインタアナシヨナルの統一が行はれ、一日も早く我等の參加し得る日の近からんことを切望するものである。

其の時の至る迄吾等は一意組合の勢力の增大に全力を傾盡しやう。

日本勞働總同盟全日本鑛夫總聯合會
改稱日本鑛夫組合
第一回全國委員會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

吾が國の海上勞働運動

大串榮吉

一、海員組合の基礎並にその構成要素

先づ我國海上勞働運動を研究するに當つては現に四萬七千と號する組合員を有し、組合經濟の豐富なることを江湖に常に誇りつゝあるところの海員組合を解剖臺上に持ち來ることによつて、自餘群少の問題は春光を浴びた氷の如く解決し去られるのである。

海員組合の基礎、船主なる資本家は當然海上勞働者を搾取する、と同時にまた海上勞働者中の勞働貴族即ち水火夫長を搾取する、而して資本家の（船主の）この水火夫長に對する搾取壓力は工場に於ける勞働貴族に對するものよりもより強烈である。

問題はこゝから發生する。

簡單に具體的例證を舉げて説明すれば、待遇の圖拔けて善いことを誇稱するところの郵船會社に於てすら水火夫長の俸給は八拾圓以上九拾圓を出でない、然も彼等はその最低給を得るためにも尚赤道直下の機關室に、或は又氷山浮ぶ北洋に十五年乃至二十餘年の、陸上の勞働者と比較にもならぬ程の苦鬪を續け冒險を敢行し來るのである。然るに彼等には年二回にボーナスとして郵船本社の地下室で安全な勞働に從事するところの電話交換手の三分の一程度の貳拾圓を取受る以外に、退職手當の内規あるも殆んど看板同樣で實現の可能に乏しく到底彼等をして將來を安堵せしめることは出來ないのである。

勿論彼等には普通海上勞働者とその船室及び食事に於て稍々區分せられて居るが、そんなものは問題とするに足りない。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

要するに世界第三位の大會社を以て誇る郵船に於て彼等の待遇は既に之れである、他の所謂社外船に於しは俸給實に五拾圓、勿論ボーナスや退職手當のあらう害もない。

斯くの如き物質上の薄遇……がふるに彼等には不自然な海上生活の環境より來る精神的虐待がある……は相當の年配に達し陸上に家庭を有ち、その多くは子供を有せるところの彼等としては到底喰つて行けないのである、然るに彼等には陸上勞働者に對する職長と比較にもならぬ程多額の所謂交際費が部下に對して支拂はれるのである、何故なら船内ではこうしなければ事實上彼等の位置は保ち得られないからである。

この搾取壓力下にある彼等は當然焦慮する、陸上勞働者に比し勞働壽命の短い彼等は老後の不安に襲れる、更に陸上の事情に盲目同然な彼等は一層彼等の將來の不安を想わしむるのである。

こゝに於て彼等はこの壓力を轉嫁すべき必要に迫られる、然も彼等の前には好適なその條件が備へられて居るのである。何？

船内二割高利貸制度之れである。

一體この高利貸制度の存立すべき條件とは

(1)海上勞働者即ちシーメンはその生活が賄付なるため俸給を單なる煙草代と見る癖がある

(2)不自然な環境は夜の港の灯に狂人の如く憧れて財布を空にすべく餘儀なくせらるゝ

(3)移動一島嶼の如き觀ある船舶は從つて各船間の團結連絡を計ること難く、更にシーメンは陸上の事情、殊に勞働運動社會思潮等に盲目なるため必要以上に水火夫長の獨裁權を振わしめるし又此不合理極まる高利貸制度の依つて來る原因すら自他共に意識し得ざる有樣である。

こゝに原因がある、また條件は備へられた。水火夫長は普通一萬噸級の船に乘込むに當つて壹千圓乃至參千圓の現金を懷にして乘船する、彼等の大部分はこの現金を陸上の高利貸から月平均五分の高利で借りて來て居るのである、彼等は更に之れを月平均二割乃至一割五分を以て部下に貸しつける、その貸付方法も頗る惡辣を極めたもので例へば部下に拾圓を貸すときは既にその貸借行爲の當座に於てテン引きに貳圓を引き去り八圓を貸し與へて拾圓の借用とする類の天引き方法を用ひ、シーメンの受領すべき俸給は水火夫長に於てその認印を占有して彼が勝手に處理するのである。

斯る制度は尠くとも資本家即ち船主に採つては誠に好都合

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

である、何故なら結局水火夫長の俸給は資本家の手から出すことなしに、一般海上勞働者が負擔して呉れるから、故に彼等はその統制と訓練とを世界に誇り得る郵船を以てすら尚且廢止！　どころか寧ろ暗々裡に奬勵して居る有樣である。況んや社外船に於ては正に論外である。

この高利貸制度を經濟的に稍々組織立て行ふ必要から水火夫長階級は各自相倚りて漣會月々會と云ふ樣なものを組織し金融の研究、債權の引續讓渡等々行ふのである。

更に他面彼等はこの高利貸的債權の保護確立のため權利を行使するその一つは船主より與へられたる勞働貴族としての權力……もとより船主はその權力を高利貸にまで延長せしむることを決して拒むものではない……と他の一つは前記彼等間の私的經濟機關と並列するところの私的權力機關である。

日本海員組合、實にこれこそその私的權力機關の最大なるものである。

私的權力はこゝでは親分子分の形態に於て發作する。水火夫長は高利貸によつて得　利潤の幾分を割いて乾分を養成する、乾分とは船内に於ける親分護衛の暴力團なのである。もし船内に於て「カラス金は御免を蒙る」と云ふ解らずやでも出ると、親分は此處に水火夫長となつて現出し、難癖をつけて下船を命ずるか、或は又危險極る作業等に故意に從事せしめて膺懲するし、短氣なシーメン氣質とてもし直接行動にでも出樣とすると、此度は親分と變現して「やッちまへ」などゝ所謂乾分をケシかけるのである。

故に彼等の高利貸は強制的である、高利を泣き泣きでも借らねば進級もさして呉れないのである。

海員組合の要素、かゝる親分乾分の結成よりなる海員組合は、その首領に資本家であり相州强樂に宏大な別莊と土地とを有し、例の鈴木文治を自動車にて招じ垂涎三千丈たらしめた程の楢崎猪太郎を奉戴し、明に資本家のための副義的搾取機關たることを證明せるさへあるに、同組合事實上の主權者たる副組合長濱田國太郎は火夫長上りで有名な斯界親分中の親分なのであることは、あまりにマザ〳〵と、その基礎を表現して居るではないか、更に評議員會の決議機關に參加し得るところの評議員並に船内幹事中、水火夫長に在らざるもの幾人あるか！、更に又常に評議員會の席上（大會も同樣）絶對多數を占むるところの常務なる有給事務員（月給八拾圓以上

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三百圓を支給せらる）は例外なく水火夫長の古手で然も濱田大親分が單にその乾分なるが故を以て組合へ引張り込んだ連中なのである、就中滑稽なのは、この議場を右左し得るところの評議員にして組合常務なるものは對楢崎組合長對濱田副組合長の關係に於て雇人と雇主との立場に置かれて居る。之れでは海員組合の年中行事たる「滿場一致可決確定」も尤もなはなしである、何故ならば、もし組合長副組合長に對し異議でも申立ようものなら彼等としては實に過分な俸給が首と共に即時にスッ飛ぶのである。

高利貸信用組合の事務會議

これが日本海員組合の大會なのである。

海員組合の經濟、もとより豐富である。鈴木文治と望月某をして涎を垂らさしむる事程豐富である、海員組合幹部をして此點だけは字内に誇り得ることに間違ひはない。だがこれは勞働組合としてゞある、高利貸信用組合としての實體では寧ろ少額に過ぎる。

組合本部は土一升金一升の神戸榮町通りの三階建物である。三階の大公堂、ヘタなホテルの便所は側へも依れない水洗裝置、精巧なラジオの設備、大金庫、邦文タイプライター、給仕等は誠に高利貸信用組合として相應しい道具建である。

見よ！ 壯快な爆音と共にメリケン波止場を離れて疾走する組合所有のモーターボートに乘組んだ組合常務は各入港船を歴訪して水火夫長の手に依つて豫め集められた（寧ろ引き去られた）稅金……海上勞働大衆は組合費のことを稅金だと言つて居る、試に適切な言葉ではある……を受取つて、養飯を水火夫長の私室にて馳走せられて歸つて來る、若し此際乘組船員にして「今金がない」と言へば實に親切？ な我が水火夫長は「デハおれが……」と二割利子をつけて貸して與れることに間違いはない。

更にもし一歩踏みこんで組合を惡口し、組合費の據出を拒絕でも仕樣ものなら早速我が水火夫長は「デハ氣の毒だが船を降りて貰わふか」と遠慮のない事を言ふ、愈々出さないとなると「社命に依つて下船」させられて仕舞ふのである。

そこで資本家のための從つて又水火夫長のための高利貸信用組合の經濟が確立される。

實に日本海員組合幹部の出張は二等の急行寢臺付であり、過年の小樽爭議に於けるストライキ破り指導のため出動した

濱田國太郎二晩の宿代六拾五圓はまだ倹約した方かも知れない、更に愉快なことには年數回の評議員會に單に手を擧げるためだけに大連から來神するところの一出張所主任の旅費六拾圓や、評議員會の前後に於ける宴會や、又は過般の天洋丸ストライキ破りの晩彼等同勢二十數名の福原遊廓前『かき柳』に登樓散財せる事實……爭議團情報部の報告による……などは、船主と勞資協調の會食よろしくあることを別とするも、尚且つそこ等の貧棒組合をして聞いたゞけでフラフラならしむるべく充分である。

二、沒落過程

一般にシーメンはその環境からシーメン氣質を形成する、彼等は(1)激情家であり感傷家である、そのため事物の觀察を表皮だけに止め深刻な考察を嫌忌する癖がある、單なる所謂『人格者』なる宣傳を人格者振るだけで兎も角も楢崎組合長に無條件讃辭を呈するの類である(2)だがその取扱ふところの勞働要具はコムパス、スチヤリングインジンから精巧な舶用タービン、デーゼルインジンなど近世勞働要具であるため從つて頭腦は精緻であり近世勞働者なのである(3)然し社會思潮は勞働運動政治運動の現在に對しては殆んど盲目と言つても過言ではない、それは海員組合常務によつて放れるところの常套語『この規約(海事協同會)が出來れば勞資對等ではなしが出來る』とか自ら和製マルクスと稱する海員組合一常務によつて言われるところの『共産黨のチキ生がごだいイケねエんだ』に拍手する事によつても全部を推すことが出來るのである。

資本の攻勢、さて大戰後の資本攻勢は海陸共に猛烈ではあるが、特に海に於てはその大戰中の一倍の好景氣の反動として一層猛惡なるものがある。資本の攻勢は結局何等かの名目の下に海上勞働者の賃銀を低下せしむる、賃銀の低下は延いて貸金の貸し倒れを生ずる、或者は水火夫長にウマク持ち込んで數ケ月分の前借をした上ボイと上陸して仕舞ふし、或者は迫害に抗してまでも借ることを拒む、その結果……思想が惡化した、とも言ふ……水火夫長の或者は陸上高利貸へ月五分の利子が拂へなくなつたし又或者は極端な實例だが拔身自殺(貸金回收不能なために)したものすらある、而して又他の一部は早くもその行詰りと不合理を洞察して、水火夫長自ら進んで貸金制度を廢止し、俸給各自受取りを斷行し

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

たところの少壯自覺分子すら發生した、かくしてこの氣運は資本の攻勢と共に急速に崩壞の度をより一層擴大しつゝある。

組合幹部と海上勞働者との對立、高利貸制度の沒落は當然水火夫長の私的權力の沒落となつて現れる、親分乾分の情誼？は氷よりも冷になりつゝある、乾分養成費の割合にその能率は上らぬ、續いて高利貸信用組合の稅金滯納者が續出する、現にその四萬七千と稱する組合員中會費の、否稅金の徵稅率はその完備せる强制執行法を以てするも尙且つ一萬三四千を出ない有樣である。

「貳圓も稅金を(月貳圓、うち壹圓は海員ホーム費とか稱するもの)取りやがつて何んにもしねへ」この呪咀は囂々として揚つた、此處に於て勞働組合の假面を被つた高利貸信用組合は何事か爲さねばならぬことゝなつた、幹部は映畫「波荒き日問題」などを捕へて鳴物入りで騷いで見たが大衆踊らず何等の効果も得られなかつた。

勞働組合の看板が脫落し高利貸信用組合の正體が現れ出すや、幹部はまた看板の塗り換へを始めたこれが海事協同會なのである。

海事協同會、國際勞働會議の條約を種本として海上勞働者に天國來るかの如く誇張し、之れを瞞着して一束にして資本家なる船主へ賣り込んだのがこの協會なのである。

この海事協同會に關しては他に筆を改めて詳細に報ずることもあろうが、要するにその種本たる國際勞働會議規約を數倍惡化せしめて(1)海員職業紹介權を小企業者(特にボーレンと稱す)より大資本家たる船主に奪略し(2)その事業の主眼を爭議の鎭壓に置き(3)從來海員組合にて營みし貳拾數萬圓の職業紹介設備をして資本家に進呈した上、更にその爭議鎭壓までの經費の半分を海上勞働者に負擔せしめた。

斯くて高利貸信用組合社長及び副社長はその本來の任務である船主の御用振りを忠實に盡くした一方に於て、この「地獄來」を「天國來」と稱して憫れにも驚く程世情に疎い海上大衆をして見事に釣り寄せたのである、此處に於て彼等は正に一石を以て二鳥を斃し得たのである。

屬員豫備新制度問題、九月二日海事協同會の設立するや早くも同二十七日郵船會社は屬員豫備制度改正案なるものを發表した。

こゝに些か屬員なるものに就て書ねばならぬ屬員とは郵船

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

會社所屬の下級船員を盲ひ、屬員は屬員で郵船會社支出の積立金を基礎として屬員協會なる葬式組合を設け組合員四千五百を有する、而してその組合員は屬員協會員たると同時にまた海員組合員にして實に海員組合の中堅をなして居るものである、更にこの組合の幹部たる常務はこれまた水火夫長を以て任ぜられその俸給は郵船會社より支拂はれると云ふ不可思議千萬な組合である。

勿論郵船はたとへそれが高利貸組合にして自己の忠犬なるにもせよ、兎に角勞働組合と稱する以上、『勞働組合』の名稱すら極度に嫌忌するところの資本家根性から、彼の忠順な海員組合が萬一勞働組合本來の目的に覺め來つて一朝鼓を鳴らして船主の城壁に攻め寄するとき、彼れはこの屬員協會をして逆襲せしむべき之れは實に勞働組合に對する伏兵なのである。而して勞働組合にあらざるところの現在の海員組合と屬員協會とはその利害は完全に相一致して居るのである。

郵船屬員、そは實に我國のみならず世界に於ても最も訓練され規律ありとせられ技術の優秀を以て誇り得る海上勞働者の典型である、特に餘談ではあるが這般猛然として奮起下船したところの天洋丸乘組員の如きはこの屬員中の精鋭中の精鋭であつたのである。（總下船後天洋丸が橫濱港外に於て坐洲したごとき正にその結果であつたのだ）

さて郵船會社は海事協同會に於て海員組合幹部に命を傳へて海上勞働者の奮起を防止せしめ期至れりと見るやこゝに此惡制度を發布したのである結句この制度に於て

（1）郵船は貳拾五萬圓を利し得ること

（2）一ケ年勤續を以て下船し有給を以て陸上に勤務し（セーラーならば每日港内に出て船體の塗り換へなどをする）得たのが二ケ年勤續せなければ上陸し不能ざるため水火夫長の賃金制度に於て最も恐るゝところの上陸期間を二倍に延長し得てミッチリ甘き汁を吸ひ得ること

然るに海上勞働者側に於ては

（1）遠洋殊にボンベイ、カルカッタ航路に從事するものは船員病に冒され些か身體に變調あるときは二ケ年勤續は『死』を豫期せねばならぬこと（尙殊にデーゼル船の如きは機關部に於て八ケ月もすれば全部結膜炎にかゝり視力の驚くべく減退を生ずることは會社の船醫ですらも認めるところである）

（2）海上勞働者にして、特に郵船の如く規律嚴格に勞働は厚重で更に賃金制度による水火夫長の壓迫の猛烈なところでは、憫むべき彼等の消極的な反逆手段としてはこの豫備制度による上陸だけが彼等の唯一の通路であるのだ。

一度この惡制度（年限の延長に加ふるに人員の極端な制限を附したるもの）が發布されるや海員組合副組合長濱田國太

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

郞は『これ位いの事は我慢しなくては』こうそぶき、楢崎組合長は

『茲に私は諸君にお勸めする、もしも諸君が自分の生活の根據である會社をして第二東洋汽船たらしめない爲めに涙を呑んで新制度を我慢する、其代はり重役の手當も減ぜよ株主の配當も減らせ：……と言つて叫ぶのであれば俯仰天地に耻じない叫びである。

（大正十五年十月六日日本海員組合配布のリーフレットによる）

と五萬の勞働組合員を有する組合長の言こしてあるまじき、然し船主のために海上大衆を搾取する高利貸組合こしては當然言わねばならぬ事を爭議の應援を依頼に行つた爭議團委員に發表した。

それから本田某と言ふ一火夫長は彼等の金融取引所たる月々會に於て、この惡制度の發布を聞くや

『之れから俺逹の好な（註ミッチリ絞れる）人間を乘せられる』

こ言つて嘘の樣な話しだが大の男が手離しで嬉し泣に泣いた事實がある。

資本の攻勢＝海員組合の操縱＝海事協同會の設立＝豫備惡制度＝より一層の搾取

は完全に

資本の攻勢＝海員組合の沒落過程＝焦燥＝海事協同會設立＝豫備惡制度＝より一層の貸金高利制度確立、從つて崩壞せむとする基礎工事の修理

とに於て一致する。

故に海員組合幹部が猛然として憤起したところの道般の天洋丸に對して白晝堂々ストライキ破りを逸つて『一分も船は組合の手で停めさせぬ』とか『ナアに五百六百の補充ならば今でも集める』とか『九月五日天洋丸下船員の補充も畢竟此の理由に外ならないのである』（十月六日日本海員組合リーフレット楢崎猪太郞談）こ平氣で済し込んで居る。

三、海上勞働運動の進行

現在海上勞働組合なるものゝ基本的一典型海員組合を知つた吾々は自餘群少組合も、そが船内高利貸制度の上に起つ限りに於て……現在殆んご全部がそうであるが……又水火夫長其他勞働貴族によつて決議機關が占有さるゝ限りに於て悉く類を同ふするものである、たゞ此處に………現在の橫濱神戸に於ける郵船屬員爭議團を除いて……我國唯一無二の戰鬪的海上勞働團體がある、海員刷新會之れである。

海員刷新會、海員刷新會はその目的に『海上勞働者の實際生活の改善、政治知識等の向上に必要なる一切の社會及び勞働諸問題の研究をなすを以て』こ掲げ主こして海上勞働者の啓蒙運動に心血を注いで居る。

同會は組合員も海員組合に比すべくもない少數ではあるが、眞の無產者運動こしての熱烈な意氣こ敏捷なる行動こは

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

彼の尨大なる海員組員の幹部をして神經衰弱に罹らしむるに分である。

勿論刷新會に對する資本家及び高利貸組合の彈壓は猛惡過ぐる程猛惡であり、更に資本家政府從つて官憲の之れに（海上勞働運動）對する警戒の嚴重、取締の惡辣なることも又言語に絶するものがある。海員組合幹部は先づ刷新會員のブラックリストを作製し船主に回付する一方、直接水火夫長に通じその職權を加ふるに私的權力を加へて事實上「手も脚も出せね」狀態に押し込む、更にそれでも安心ならぬと見へ例の右翼幹部の常套語「共産派」を以て世情に疎い而して又激情家のシーメンを煽りたてる有樣である。

もし刷新會員にて下船でもするものがあると海組員合幹部は遠慮なく各社外船船主及び水火夫長に通告して乘船せしめないことにする。特に海員組合幹部の紹介に依らざれば一船員と雖も傭ふことをせない國際汽船、勝田汽船會社に於ては一歩も船内に脚を踏み入れることすら出來ないのである。

もしそれ這般の如き爭議に於て爭議團員若しくは刷新會員にして社外船を訪問でも仕樣ものなら水火夫長の私的暴力によつて奇麗にノバされて仕舞ふことを保證する。（商船會社には火夫長の古物である小林と云ふ大親分を無茶苦茶に厚遇して上級社員たる監督と同等の椅子を與へ轄下高利貸機關の運用に便ならしめて居る、之れによつて小林親分が狸が衣を纏いたるが如くフンゾリ返り、無智なシーメンは之れを單に「エライもんだ」と呼んで居る、彼の乾分は各船に於て船主のために部下の搾取に營々として居る）

アア！　海上勞働運動は實に難事中の難事である。だが資本主義自體の而して又高利貸組合自體の內的矛盾は時の進行と共に加速度的に猛烈な勢を以て發生しつゝあることは現時海上に於ける瑣末な波に於けるまで、その現象を捕へ來つて研することにより確實に之れを立證することを得る。過般の天洋丸事件の如きは正にその表面に現れ來つた一現象の大なるものである。

斯くて一擊又一擊、高利貸信用組合は奈落の底へと沈下し去りつゝある。

甲板部、機關部、司厨部の船內團結！、

船內委員會の設立！、

啓蒙運動！、

而して

高利貸信用組合より勞働組合へ！

之れ現在海上自覺分子のモットーである。

因にこの右翼幹部イコール高利貸組合の彈壓には陸上の組織無產者の手をわずらわさなければならない。

海！　島國は海を忘れては何事も出來ない海！　それは農村と同樣な重大な役割を吾無產者運動の上に齎らすものである。（終）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

土地所有權矛盾の展開過程

——耕作權の社會的基礎—展開過程——

青木惠一

一、資本主義と土地私有權の發生

ブハリンは云ふ——「これを賣り、更に賣る爲め、之を買ふ類である。この場合運動に入るのは物ではなくて、物の所有權である」——（世界經濟論—四四頁）——資本主義經濟制度の特長が商品生產制度であると云ふことは其の基礎こして、又直ちに所有權の設定——確立を必要とする。斯くて權利を賣買して、資本主義こしての意義をあらしめるのである。從つて、私は既に「地主階級の飛躍過程と耕作權」なる小論稿において、明かにせる如く、封建的社會における所有權は、斯く商品生產制度を基礎こして居ないから。所有權の賣買による利率の獲得を意味せられておらぬ。從つて、多數に權利は分割せられ、所謂分割所有權の形態を以て、相互に讓渡の對象こして領有權、所有權、地役權——（小作人の耕作權）——の如くになされて、自給自足を基礎した形態をなしておつた。所が、資本主義への飛躍によりて、斯る經濟組織への轉換は法的、政的に之等の權利は單純化されて、新に地主は作られ、規定せられた。從つて、地主は領有權を、地役權を奪ひ合して、一の所有權——個人所有權の形態を取るに至つた。

即ち「地所永代賣買の儀、從來、禁止の所自今四民共、賣買致所持候儀、被差許候事」——斯る許しは直ちに反映して

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「土地を小作人に買受候共、永小作の權利を地主に買受候歟、双方熟議の上、私有の分可相立」――として土地の所有權と云ふものは、劃時代的意義を以て、劃然として、確立せらるゝに至つたのである。

從つて、日本の土地所有權が、斯く確立せられたと云ふことは、資本主義經濟を基礎とした所謂、資本主義社會が確立せられたるを意味しておる。從つて、又土地自體も賣買の對象としての封建的形態は轉換せられて、土の社會的形態としての權利、資本主義下に價値づけられた、價値部分と云ふものが賣買の對象物としての所有權である。從つて、資本主義社會における賣買と云ふ、商品の社會的流通の過程は、正しく、所有權流通の過程を意味しておるものである。だが、注意せねばならぬ點は、一般商品はそれ自體賣買せらるゝと云ふ見解である。それは正しく、商品に對する分解――認識の不正である、それは大なる商品においては、其の場所の轉化の可否によりても明かなる如く、轉化せず、所有して利率を獲得すると云ふ、斯る抽象形態において最も露骨にこの事實を物語る如く、土地においても、賣買によりて、其の場所を轉化せしめぬ、又出來ぬ、賣買は正しく所有權の賣買に歸着する。

資本主義社會において、賣買せらるゝものは一切所有權を有しておるものであり、所有權は一切賣買の對象たり得る、――斯る並行的相關々係を有する、だが、斯る並行――今は資本主義社會の確立によりて齎らされたのである。然るに進み行く賣買の過程と、固着せる私有權は、斯る並行的相關々係を必然的に打破せねばやまぬ。即ち、固定せる所有權の關係と展開しつゝある賣買の關係は今の關係に止ることは正しく不可能にして、賣買をリードしておる利率は、漸次高率に迎ふ社會的傾向を有しておるのであるから、此處に確立せられた所有權は社會的な撞着に――矛盾に到達する。之について、マルクスは教ふる――

「私有權は、私有權として富としては自分自身をかくしてまた、彼の對立無産者團を存在維持せしむべく餘儀なくされて居る。これが對立の積極的方面、自分自身に滿足したる私有權である。

無産者團は、反之、無産者團としては、自分自身をかくして、又、彼を無産者團となす對立――私有權を揚棄すべく餘儀なくされて居る。これが對立の消極的方面、自分自身における、彼の不安、解體せられた所の且自らを解體する所の私有權である」（マルクス、エン

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

従つて、所有權が新に確立せられたと云ふことは、所有權が政治的、法律的に固定せられ、その上に社會組織は建設せられ、所謂資本主義的經濟組織の確立を意味する。だが斯る固着は一定の段階に發達せる生産力を基礎としておる。所が生産力の發達は不斷の連續をなして居る爲に、斯る固定化されたる所有權は漸次に取り殘されて、既に云へる、相關的對立關係は分化せられ、固定化の爲に生産力の發展を阻害せしむるに至る。

土地所有權の確立は、斯る意味を一歩だに出づるものではない。資本主義發生の一定の段階に到達せる生産力と相關して、發生せる私有權は漸次にマルクスの云へる如く「自らを解體する所の私有權」となる。

斯る所有權は資本主義の下に如何に展開するか？ それが私の本稿の任務とする所である。

二、土地私有權と資本主義の發達

A　商業資本主義下の形態

生産力の發達が封建的經濟組織と桎梏となり、新に資本主義的形態を發達せしむる根本的動因は、既述の如く所有權を確立せしむるに至つた。我々は「フランスの人權宣言第十六條　所有權は神聖且侵すべからざる權利なり」——と云ふ、ブルジョア革命最初の憲法條章が如何に所有權に對する態度が明瞭にブルジョア的なるを知ることが出來る。斯る經濟的形態を被ふ爲に「第一條　人は出生及び生存において、自由及び平等の權利を有す」——と云ふ紳士的外被を以てする。斯る態度はフランスのブルジョア革命の憲法のみではない、日本憲法「第二十七條　所有權は侵すべからざる權利なり」——と規定せられておる。字句上の差位はあるが其の根本的態度においては、憲法を以て、私有財産權の確立——擁護により、斯る上に一切の社會的上層構造を建設しておることは明瞭である。

斯くの如く規定せられたる所有權は、其の生産力の發達に伴ひ——所謂經濟的展開によつて、其の内容に差位を齎して

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

おるのである。

ボグタノフに從へば、資本主義は、次の三段階を以て終るものとしておる。即ち

商業資本主義時代

工業資本主義時代

金融資本主義時代

斯く分類せられたる、時代によつて所有權の內容は漸次變化しつゝあるものである。

封建的經濟は全般的に、自給自足の經濟とせられ、フリドリツヒ、リストの云ふ「農業經濟の時代」――である。所が、生產力の發達は斯る農業――經驗的農業――をして、一步飛躍せしめて、マルクスの云ふ、科學的農業への段階に進む、然る時は、科學的農業は其の經濟的關係において、自給自足の關係を其の媒介として、貨幣形態に飛躍せしめて、新に、商業的形態への進化は始る。

商業的形態は、資本主義最初の形態であり、從つて、其の內部においては厳然として、經驗的農業より、飛躍せる科學的農業を基礎としておると云ふことは明かである。

所が、斯る飛躍の過程は、利潤の甘きに集中する資本主義社會においては、科學的農業に對する土地の所有關係と、土地自身所謂「當今、四民共、賣買致所持候儀、被差許候事」――による賣買の對象としての形態を取る。然るに、基礎としては、科學的農業であるが、斯る段階においては、資本主義的形態として、利潤がリードしておる爲に寧ろ却つて、土地の形態は賣買對象として存在し、從つて土地所有權の形態は、それ自體ブハリンの曰ふ、賣買と云ふ活動に入るのである。從つて、所有權と云ふものは所有權者自體に反映し、制馭することが出來る。從つて、自由競爭場裡に確立せられ、擁護せられたる所有權を以て臨むことは可能である。斯る事は、反映したる形態として、地方地主が、獨立、或は共同、或は合資、或は合名等の形態により、小銀行を設立せしめておつた。即ち地主は地方において、高利貸的な金貸者であつ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

た。從つて、それ等の銀行は一行獨立し、支店や、出張所を有して居ないのを原則としておつたのである。

	銀行數	公稱資本
明治二六年	一三五	六二九一六一〇〇圓
明治二九年	一一九七	二一一四三二〇四二圓

と云ふやうな極めて、小銀行の數と云ふものは激增したのである。

之等は土地が商業資本主義時代において、その所有權と云ふものが極めて、確立せられ、所有權者に自由は與へられ、自由に土地の所有權を驅使すると云ふことの反映であつて、法律上確立せられたる所有權は何人にも侵害せられず、存在しており、從つて又、所有權が社會的矛盾性と云ふものを未だ、曝露せずに嚴然と光輝ある神聖の秘密を胚胎し、存在し得るのである。

所が、商業資本主義の漸次昂進して、行くに從ひ、工業資本主義の時代を現出すると共に、土地所有權の社會的矛盾性と云ふものはやうやく、其の萠芽の伸長——拗芽は成長に伴ひ、明瞭に看取せらるゝに至る。

B　工業資本主義下の形態

商業資本主義の形態は、生產力の發達に伴ひ工業資本主義への過程への傾向を有す、ブハリンは曰ふ——「我々は工業の發達と工業の爲の素材の供給者たる、農業の發達との間に不相合を念頭においておる」……「けれども、現代農業の發達は工業の驀驅な發達に間に合はないのである」——「是に因つて、資本主義發達の最終期において、最も、主要の國際的現象となつた、物價騰貴が發生し、工業的過程が米大陸における農產物の生產も、先進資本主義諸國の需要に匹敵しなくなつた程に銳化し——世界價格の低落が其の昂騰と交替したのである」(世界經濟論)

農業は斯かる、經濟的地位にシンギンしておるのである。それは、又、ブハリンは曰ふ——「勿論、凡てのそして總ゆる事情に際して——社會主義社會においてすら——生產力の發達は生產手段の生產の方面へ表現されるであらう。だが、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

これは決して社會生產力の分配における不相合を意味しないであらう――發達の行程は調和的に、且つ、輕快に進むであらう。素材に對する「需要」は、その「供給」と同樣に迅速に增大するであらう、從つて問題は一般に工業の相對的增大にあるのではなくて、其不權衡の增大にあるのである、他方において、この發達行程は、マルサス及び其多數の――公然たる或は、隱然たる――後繼者が、想定したやうに、農產物の生產を困難ならしむる「絕對的」及び「自然的法則の表現」と想定してはならない、主要な障碍は特殊な社會的範疇、十地に對する獨占的所有にあるのである」――(前揭)――として、彼はマルクスの論を引用しておる――「土地に對する、我封建的所有は――とマルクスは絕對的地代の章において書いて居る――所有者の爲に地代を創設しない、だが、無論、絕對的地代は、經濟的關係が、彼にある利餘を齎すやうな、その利用を可能ならしめて居る限り、土地が本來の農業にとつて、適用を發見すると、建築等の如き、他の生產目的に適用を發見すると論なく、その土地を搾取から回避する權力を與ふるであらう。彼はこの企業範圍の絕對的な、大きさ、を增大することも、縮少することも、出來ず、この市場にある數量を變更することは出來る。此處から既にフーリエーが云つた如く、凡て文明國に於て大部分の土地が耕作から、除外されてゐるといふ、特筆すべき事實が發生するのである」(マルクス、資本論、第三卷)

「この領域における、異常な競爭の增大は炭層、鐵鑛、銅鑛、石油地等を有する地方を併合せんとする、貪求を以て、益々增大して行く所の事實である。大きな役割を演じ、且つ天然に條件に倚存する、是等の生產部門は獨占化を擧り、從つて、或る「國民」群の手に落ちて、他の「國民」群の爲には消滅して仕舞ふものである。だが、それは勿論「占領」の必要手段を擁する結束したる、國民群が現われる限り、農業生產にも關係することである。」

「斯くて、資本主義の最新の局面は、この領域においても、保爭を激成してゐるのである、資本主義的發達の速度が速ければ速い程、經濟の工業化と國々の都會化の過程が强ければ强い程、農工業間の均衡はそれ丈け多く破壞され、遲れた國々の方から起る。發達した國々の競爭は、それ丈熾烈になり、その露はなる衝突は、それ丈避け難くなつてくる。」

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「資本主義的外延は此處に於て……戰爭に必ずや、導く所の「矛盾」の「解決」となるのである」
「世界資本主義の生産力の發達は、經濟的國際的聯繫の他の形態をも舞臺へ押したのである」(ブハリン——世界經濟論
——一七四—一八二)

工業資本の展開の傾向は、斯る、大なる飛躍——農業生産、所謂素材生産を無視して工業的資本へ轉化せられて、遂に世界的に其の資本は押出さるゝに至つたのであるが、斯る事情へ轉化せられて來る間における所有權は、所謂集中乃至は集積の形態によつて、移動を生ずる。

所有權は、商業資本主義時代においては「自由賣買の原則」——によりて、自由に賣買せられた爲に所有權は完全に、所有權者に存在しておつた。所が、工業資本主義時代は、斯る移動關係を通じ、昂騰し遂に集中せられ、乃至は集積せられて、土地の所有權は少數人の手中に委せらるゝに至る。

所が、少數人の手中に集積せらるゝことは新に勃興せる工業資本の下にては、既に明かにせる如く、ブハリンの示せる如くに、工業生産は素材生産と即ち農業生産と非常に隔絶せられ「農工業の均衡」は加速度的に破壞せられて行くと云ふ原則を基礎としておる爲に、土地所有權は集中、集積によりて素材生産に充當せらるゝものではない、從つて、土地所有權は集中、集積によつて、社會的素材生産としての性能は消却せられて行くのである。こゝにおいて、所有權は漸次に明かに、社會的矛盾性を曝露するに至るのである。

從つて、工業資本主義下においては、具體的に——法的形態の所有權は——集中、集積せられて行くのである。

耕地所有地主戸數——(百分率)——

年次	五反以下	五反以上	一町以上	三町以上	五町以上
大正元年	四七、四	二五、七	一八、〇	五、四	二、五
二年	四七、五	二五、四	一七、九、	五、四	二、五
三年	四八、一	二五、一	一八、〇	五、三	二、五

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

四年	四八、二	二五、〇	一八、〇	五、三	二、五
五年	四八、四	二四、七	一八、二	五、三	二、五
六年	四八、六	二四、五	一八、三	五、二	二、五
七年	四八、八	二四、二	一八、二	五、二	二、五
八年	四八、九	二三、九	一八、二	四、七	二、五
九年	四九、四	二四、三	一八、一	四、六	二、五

——農商務省調査——

以上の統計において、明かに五反以上、五町歩以下の地主は年々減少して行く——斯る集積の過程を如實に物語つておる。

土地集中の過程は年々、一方戶內外の自作農の沒落による、小作農民の增大を示しておる。即ち

年次	自作農 戶	小作農 戶	自作兼小作 戶
大正元年	一八二二一一二	一五〇五九三八	二一九二八四四
二年	一八〇五〇五九	一五二七七四二	二一九四三八七
三年	一七九〇二〇〇	一五二八〇一三	二二二一〇一三
四年	一七七九〇五七	一五二〇四二三	二二二五五七八
五年	一七五七一六〇	一五三二三八五	二二五二三七九
六年	一七五五二〇三	一四五一四〇八	二二五五〇四七
七年	一七五六六二九	一五五八〇五四	二二四六三六一
八年	一七六〇二〇九	一五五三五二四	三二五二六六八
九年	一七三二二九二	一五六六〇四四	二二六四七六一
一〇年	一六六九〇九〇	一五五四六七七	二二三一九二四
一一年	一六四〇八〇七	一五二一七一二	二二〇〇〇〇三

小作農民の激增は、一面において、全く反對に大地主——土地所有者を現出する、即ち——

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

十町歩以上大地主戸數

	十町歩以上	五十町歩以上
明治四四年	四一五〇〇	二九一九
大正元年	四一二四九	二九三二
二年	四〇七六二	二九六三
三年	四一四二八	二三九九
四年	四〇九九八	二三〇七
五年	四一三八二	二四八二
六年	四二六〇一	二四九五
七年	四三九一三	二五八八
八年	四六〇六二	二二二八
九年	四七〇四八	四二五一

——(以上の統計、三は稲村隆一著農村問題の現在及び將來より)——

斯る、所有權の集中、集積と云ふものは極めて急速に發達してくる、その傾向は工業生産力の發達に伴ひ、生産手段の集中過程——集積の過程として露はに表現せられおる——斯る集中、集積の過程は、この工業資本主義時代の特徴を示しておる。所有權の形態である。從つて、斯る傾向は、マルクスの曰つた——「土地が本來の、農業にとつて、適用を發見すること、建築業の如き、他の生産目的に適用を發見することに論なく、その土地を搾取から回避する權力を與ふるであろう。」——

「農工業の均衡」は工業の發達、それが近代的な重工業に接近するに、從つて「土地が耕作から除外されて居ると云ふ、特筆すべき事實が發生するのである」(フリエー)

三、資本主義下の土地私有權矛盾の發達過程

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

マルクスは「經濟學批判」の序において私有財產の確立せられたることは、總て、自身の生產力との桎梏によりて、それ自身を變革せねばならぬと云ふ。大なる矛盾を有しておると喝破しておる。

斯る矛盾は資本主義社會においても、如何に發展してくるか、それは資本主義社會における再生產過程の轉化せられたる問題である。從つて、矛盾は再生產過程の段階によつて、差異を有するものである。

前節において私は、所有權と云ふものが資本主義社會において、生產力の發展に伴ひて變化しつゝある、と云ふ點について、論斷して來た。即ち、商業資本の再生產の過程と工業資本における過程について——所が商業資本主義の時代は、原則的に自由なる所有權を確立せられたる時代であり、工業資本主義時代は、自由なる集中、集積が、其所有權の移動を通じて行われる時代である。之を更に概括すれば、自由競爭の過程である。斯る意味において、矛盾發達の、第一段階を私は「自由競爭の段階——過程」——とし、第二の段階は、工業資本主義の再生產過程の轉化による、金融資本主義の過程へ必然的に轉化せられて行く、金融資本主義は、獨占的資本主義である。所有權的形態によりて集中、集積し、支配し、利用するに非ずして、全く再生產の展開によりて、經濟的に所有權を支配する——即ち經濟的獨占主が現はれて、所有權者を支配する段階は、自由競爭と云ふ再生產過程の中に、生產せられてくる。從つて私は、之を「獨占的過程」とし、斯る過程下における、矛盾の展開を更に究明せんとする。

自由競爭の過程は、私有財產制度の確立により、所有せる權利を以て「自由競爭の原則」——によりて、確立せられたる所有權を利潤獲得の爲に生產過程に入らしむる。

生產過程に入らしめたる、所有權は、生產手段である「私有せられたる生產手段」をして生產行程に入らしむる所が、生產手段の生產行程における役目は、即 D—T において「D—T の作用は、周知の如く D—R と D—S. R. P. の二部に分ける、この場合 R は勞働力を表し S. R. P. は生產手段を表はす、」從つて、「生產手段」の私有によつて、資本主義的再生產は勞働力を、斯くして、要求する、即ち、私有せられたる生產手段は、勞働力の存在によつてのみ D—T の關係によりて利潤を獲得するを得るのである。所が、斯る關係において、生產手段は私有を原則とせられておるが、勞働力は私有せられてゐない「生產手段」——私有權者以外に存在する。從つて生產手段の所有によりて、他に存在する所の勞働力を働きか

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

けしむる、勞働力を、私有せる生産手段に働きかけしむることは、M と云ふ商品量を、農産物量を生産せしむることであり、Mは M（C－E）と云ふ利潤の公式の如く、Eと云ふ生産費を低下せしめて、Mに對する利潤を多くせしむる――（Cは單價）――M に對して多く利潤を獲得すると云ふことはEの中に不變資本の部分と可變資本の部分が含まれておる。而して、可變資本の部分は勞働力である。不變資本は、私有せられたるものである。

勞働力は、斯くして、利潤を私有權者に奪剝せしむる爲に「私有せられたる生産手段」に働きかくるのである。

斯る狀態傾向は、常に利潤か、その進展を指導しておる。資本主義社會は元則的に利潤の蓄積が行われてをる。從つて生産手段は集中、集積せられて、大企劃の下に生産行程が開始せらるゝことによつて、より大なる利潤を獲得することが出來る。又、マルクスの云ふ「資本主義の發展に伴ひて、漸次、利潤率は低下して行く」――この原則に抗爭することが出來る。こゝにおいて、マルクスが曰つた「一の大資本家は、十人の資本家を殺す」――と云ふ珍妙な現象が、現出せられてくるのである。

斯る、傾向は、漸次に勇敢になる、鬪爭的になり、紳士的になる――資本家をして、即ち、都市資本家は、工場に對する所有權に對し、經濟的關係が增大するに從ひ、社會的に、漸次、彼等の爲に激增しつゝある勞働者をして、この工場に勞働せしめて、勞働力を搾取し、且又、勞働者の馘首――自由契約の原則により――を行ひて、所有權の威力を勞働者に示す。

土地においては、小作契約と云ふ農民搾取自由契約の下に、土地――生産手段――は私有せられ、其の土地をして、貸與し、小作農民、小作することによつて、小作料を支拂ひ、上地所有者に搾取せらる、然も見よ土地所有權の確立せられたる、自由競爭の資本主義社會は、勞働者の馘首同様に、土地の引上げ、假處分、耕作禁止をせらるゝのである。其の反面において、土地は所有權者自由に、之を賣買せらるゝ、從つて、斯る不安なる上に、農民の生活は續けられておる。然も見よ！ 土地所有者――地主は、所有權の爲に、其の土地を、美田をして、惡田に森林に、牧場に、竹林に――そして土地私有權の爲に、社會的に、人口問題の悩みと、食糧問題の憂ひに、資本主義社會は充たさるゝ。又、總ゆる社會問題は、斯る上に發生せられてくる。都市勞働者は――又勞働問題とし、無産農民は、農村問題として、資本主義社會をして甦生の日全くなからしむる所の大なる問題は、所有權の確立 それ自身に内在しておる矛盾の展開である。

自由競爭の過程における、私有權の矛盾は、私有權自身より、産出する所の矛盾である。所が、獨占的過程においては自身を否定せんとする、矛盾にまで展開を遂ぐる！

（未完）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

父は考へた

庭地亘

「こりやいけないぞ。」

と父はつぶやいた。近頃流行の「左傾」とか言ふ奴ぢやないかな。いや、てつきりそれだ。――俺が眼星を附けたからには。――と父は考へた。

息子の机の下には赤い表紙の假綴の洋書が五六册蟇蛙の様にかくれて居た。父は蟇蛙でもつまむ様な手附きをして、一册一册を取り上げた。

「ははーん。きつと國禁の書ぢや。スターリングとか言ふのが此ぢやらう。知らん間に左傾になりやがつた。」

と父は考へた。

「困つたもんぢや。此の頃の若え者は一寸眼を離すとこれぢや。チャルスキー物やマリツド・ラブやばつかり讀んどる様ぢや。大體本川宜次とかいふ奴がけしからん奴ぢや。あんな奴が左傾の張本人ぢやらう。」

父は神風連の様に、眉をつり上げた。

「不肖な奴ぢや。俺等が若え頃は四書五經を讀んだものぢや。論語も祿に覺えとらん様子で、スターリングやチャルスキーにかぶれるとは、丸で話になつちよらん。」

「だが、未だ深入りしとるわけぢやあるまい。よしよし。俺が眼を附けたからには。――此は一つ説教せずばなるまいぞ。」

父は考へた。

× × ×

夕飯頃、息子は何食はぬ顔をして歸つて來た。

「一寸、お父さんがお呼びだよ。」

母親に呼れて、彼はさつそく父の書齋に行つた。父は粹の様におごそかな顔をして居た。――ふゝむ。チャルスキーでも丸呑みした様な食へん面をしとるぞ。――父は考へた。

「お前はチャルスキー物ばかり讀んどる様ぢやが、で何か。そのう「左傾」とか言ふのになるつもりか。うゝむ。」

息子はチャルスキー物が喉に辿へた様な顔をして眼を白黑させた。だが何のことか良く解らなかつた。

「はつきりと返答せえ。スターリングやチャルスキーを讀んで何になる積りか。うむ。」

「はゝーん。スターリングですか。」
息子は、やつとチャルスキーが胃の腑にすべり込んだ様にほつとした。そこで彼は滔々とスターリングの説明をした。父は息子の雄辯に全く感心した。何時の間にかうも上手になつたもんぢやらう。——代議士になつたら大したもんぢや。おまけに代議士の様な嘘八百はやつとらん様ぢや。ふむ。おまけに話に筋が通つとるぞ。こりやうまいわい。——父はにこ〳〵と微笑んだ。
やがて息子は言つた。
「——で此こそ唯一の正しい道なんです。」
成程、うまいことを言つとる。だが俺は父親ぢや。威嚴を見せずばなるまいぞ。——そこで父は又裃の様におごそかな顔をした。
「だが、その矢張り、左傾ちう奴は危くていかんぞ。右傾の方がね。スターリングを右傾に利用するわけに行かんか。うむ。」
「そりや御無理ですよ。お父さん。」
「さうか。ちと無理か。ぢやが、左傾ちう奴は栾葉大助やサンガー婦人の様なことをするんぢやあるまいな。」
「そりや、大變な誤解ですよ。」
「さうか、誤解ぢやつたか。では、その左傾とかいふ奴は、世間で言ふ様な、不良少年の様な仕事をするのと違ふちうのぢやな。うむ。さうか。」
父は考へた。——だが、先日の大學生事件は左傾の仕事ぢや無かつたらうか。彼等はプロレット・カルトちう大それた仕事をしたに相違ない。確かに滿天下の新聞は、左傾學生の狂暴と、スターリングの危險とを鳴らして居た。待て、待て、矢張り眉唾物だぞ。
「でお前は例の學生事件を如何思つとるかな。ありや嚴然と新聞に出とつたぞ。うむ。矢張り——。」
「だから度々言つてるぢやありませんか。新聞といふ奴は、矢張り其の外、文部大臣やその他の安樂椅子と同様に奇妙なからくりがあるんですよ。彼等だつて自分達の支拂ひ主の趣味の様にしか書きはしない。」
成程。——父は考へた。——同じ階級の代表者の間ですら、憲政會の御用新聞と政友本黨の御用新聞とは各々勝手な熱しか吹いちや居ない。まして其が階級對立と來ちやあ、無理もないことぢや。さもあらう。さもあらう。
「ぢやが何ぼ何でも學生が檢擧されたのは事實ぢやらう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

うむ。それも嘘か。」

「いや、それは本當ですよ。」

「學生にもあるまじきことぢや。警察の手を累はすなんぞ。實に。――」

「だから言つといたぢやありませんか。其奴が國家のからくりつて奴ですよ。國家といふ奴は階級を拔きにしては考へられない。」

成る程――と父は考へた。――國家が階級制度の保護機關なら、金持どもが勝手な眞似をするのも無理はなからう。さう言へば何だか解つて來たぞ。日本の淫賣婦が少しゝか行つとらんのに、在留邦人保護といふ名で、シベリヤに出兵した謎も消けて來た樣ぢや。而も戰爭に行つてこき使はれるのは如何見たつて百姓の伜ばつかりぢや。

「ぢやが、學生どもはプロレット・カルトちう大それたことをやつたさうぢやないか。あーん。それは如何ぢや。」

「やつたか如何か知りませんがね。お父さんはプロレット・カルトとは何だか御存じですか。」

「俺はプロレット・カルトは知らん。ぢやが如何せ碌なことぢやあるまい。」

「そりや怪しからんですよ。プロレット・カルトとは、虐げられた勞働者を覺醒する爲の敎化運動なんですよ。」

「ははーあん。さうか。俺は知らなんだ。實に新聞ちゆう奴はけしからん。政府も又同斷ぢや。勞働者は勿論敎育してやらにやならん。それは又人道上の問題ぢや。うむ。よしよし。やれ、左傾になつても構はん。スターリングも讀め。プロレット・カルトは是非やらにやならん。」

× × ×

父は考へた。そして父は覺醒した。

×月××日の朝である。

朝から彼は考へて居た。

スターリングとはどえらい男ぢやらう。

丸で吉田松陰の樣な男ぢやらう。

それこそ本當の偉人ぢやらう。

そしてうちの息子もそんな偉人になるぢやらう。

彼はすつかり機嫌よくなつて、散歩して見る氣になつた。

ぶらりと彼は門に出た。門毎に國旗がかゞやいて居た。はつと彼は氣がついた。

「おーい。早くうちも旗を立てんか。×××ぢやぞ」

× × ×

讀者よ、笑ふこと無かれ。さう一遍に古いイデオロギーから飛躍するものではありません。飛躍は此から先なんです。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

英國總罷業の後（其二）

ロゾブスキー

六、トーマス商會の給仕として。

そして所謂左翼は同じ時期に何をなしたか？　この總罷業の歴史をつゞる人々は、次の極めてありがたくない仕事が課せられる、それは即ち、總評議會の行動から左翼の精神を抜き取つて、その仕草だけを學ばねばならぬと云ふことこれである。左翼の運動は罷業前にも、罷業中にも、その後にも、右翼と異なるところはなかつた。「左翼」もまた、右翼と同じやうに、坑夫勞働者が降伏すべきことをすゝめたのである。即ち彼等もまた罷業を欲せず、それを恐れて右翼と同じやうに、罷業を出來るだけ速かに片付ける口實を求めたのである。右翼と左翼との唯一の相違點は、左翼が左翼的な文句を並べ立てまるで看板のやうに、自分の正體を蔽はふとした點にある。左翼は一切の指導を右翼に委ねて罷業の繼續中は總評議會の内部にあつて技術上の問題にのみ從事しかくして、トーマス・ブー・ベビン商會の仕事を手傳ひ、そして罷業を破つてしまつたのだ。國際勞働組合運動の統一に關する彼等の凡ての宣言は、空虚・僞だらけのお饒舌りだつたことを暴露した。統一だの連帶精神だのゝ問題が實際の問題になつてくると、彼等は、相ひ率ひて右翼と手を握り、サヴエート勞働組合側の連帶的行動に反對した。かくして、これらの所謂左翼は、罷業中に、その鬪爭においても、その行動においても、右翼の連中と何等異なるものでないことを認めざるを得なくなつた。總評議會内に多數を占めてゐた、彼等は、トーマスな政界上の先生並に師匠として承認してしまつたので、舞臺から消え失せたのだつた。多數が「少數に」溶け込んでしまつ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

たのだ。

「左翼」は獨立した存在たることを廢棄して、トーマス・ベビン商會の單なる手先に身を落してしまつた。吾々は、これらの破産者や降伏者の特徴を示すために、くどくどしく言葉を費やしてゐるわけには行かぬ。彼等の全行動は、企業家とボウルドウ井ン政府とを安全な地位に置くことを、任務としたのだといふことを指摘すれば足る。彼等の行爲と公約との隔りを測定するには、天文學上の尺度が要る。實際の行動が要求されない間は、彼等は左翼の着物を着て威張り散らしてゐたが、左翼的な言葉が左翼的な行動で實行されねばならなくなると、彼等は右翼の上衣の裾に隱れて、トーマス・ベビン商會の使命の技術上の執行者の役を演じてゐたのである。ところが、トーマス、ベビン商會なるものが抑々、英國ブルジョアーの意志の技術上の執行者なのだからたまらぬ。

七、「呪はれたロシアの貨幣について」

「呪はれたロシアの貨幣」「赤い資金」について、此場合特に解明しておく必要があると思ふ。英國の勞働組合とサヴエートの勞働組合とは、相互に友誼團體たることを公約してゐたのだから、此の問題は一層重要である。ロシアの應援資金を拒絶せしむるに至つた全事情を仔細に檢討すれば總評議會の右翼並に「左翼」の政策の本質が明白になつてくる。罷業勃發の直後に、早くも面白からぬいさくさが起つたのだつた。總評議會が、サヴエート勞働組合の應援資金を受けた時、彼はシトリーンの添電報を附してそれをつき返し、その電報中に應援資金を受取れば「誤解されて惡い意味に取られる」といふ意味のことを云つてよこした。しかし、總評議會は、資金を受取ることが、誰れから「誤解されて惡い意味に取られる」かを氣づかなかつたのだ。英國から來た一切の報告を綜合するに、勞働者はこの連帶的行動をよく理解して居たのであつて、若しそれが誤解されたとすれば、この誤解はブルジョアターの側にだけ起つただろうといふことが推測される。だが一體吾々はブルジョアジーの意見を考慮しなければならぬ責任があるのか？　總評議會はサヴエートの應援資金を拒絶す

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

るだけではすまさなかつた。彼等はこの惡巧らみのある行爲を「正さう」とする慾金で夢中になり、外國の應援資金は一般に受取らぬといふ宣明書を發表した。ところが總評議會の一員たる、ベビンは、同じ時期に、罷業の物質的援助をアメリカの鐵道從業員に乞ふてゐるのだ。そして同じく、總評議會の書記シトリンは、アメリカの勞働聯盟に打電して、應援資金を歎願してゐる。しかし單にこれだけに止まらぬ。五月二日に、總評議會は、モスコウから送金して來たルーブルは政府の命令に依つて手渡すわけに行かぬといふ通告をロイド銀行から受取つた。ところで、總評議會は何となしたか？　彼等はロイド銀行の此の書附を公表したか？　彼等はこれに反對する抗議書でも書いたか？　そんな事は何にもやらなかつた。彼等はこの成行を英國の勞働者に秘してゐた。そればかりか彼等は「呪はれたロシアの貨幣」を受取ることはできぬと云つて政府を擁護したのである（チョウジ、ヒックス）それに尚ほ、次のやうなことまで起つてゐる。罷業が破裂するや否や、總評議會の領袖たち、特に自分の臆病な態度を辯解したがる左翼の人々（パーセル・アンド・カンパニーは、ロゾブスキーが公然と添電報に裏書きしてゐるが故に、總評議會はあの金を受取らなかつたといふ報告を一般に發表し初めた。しかしあの金はサヴエート聯邦勞働組合中央評議會から送金させたものだつたといふ單純な理由からしても、私の裏書きがしてある筈はなかつた。だから、總評議會のあんな主張は眞赤な虚構だつたのである。しかし、かういふ虚構は、總評議會内に於ける左翼性質を極めて明白に示すものである。サヴエート勞働組合の金を受取るには、彼等は勇氣が要つたのだ。これと同じく彼等が自分の誤失を告白して、公けに申開きをするにも、勇氣が必要である。彼等にはこの勇氣の持合せがないために、あんなことになつてしまつたのだ。

これは斷じて金融上の問題に止まらぬ。これは深刻な政治上の問題である。應援資金を拒絕したことは、右翼が完全に總評議會を支配してゐたことを意味する。それは城開け渡しの序幕だつたのだ。一方では裏切り行爲を、他方では無節操と臆病と屈從とを政治的に暴露した、總評議會のこの決定を、英國のブルジョアジーはかくの如くに解してゐた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

八、言行はどこ迄で矛盾してゐるか。

舞臺の背景には、これらの先生の裏切と臆病と屈從と大衆恐怖病とが働いてゐるために、共産黨及少數派運動の活動はそれだけひきたつた効果をおさめてゐる。小數派の運動とその活動とは、此場合、特に吾々の興味をひく。手元にある資料からして、少數派運動が、罷業前にも、罷業中にも溌溂な活動を廣い範圍に亘つて開始してゐたことは明かである。地域的に實行委員を擧げ、分散し分裂してゐる凡ての團體を結束し、スローガンを一般化し、大衆の發意を進展させ、運動を政治的軌道に移し、前衛分子の統制を大衆の間に組織すること等々が、彼等の活動戰線であつた。大衆運動の進行中に決定的な作用をなすものは、スローガンを敏速に變更し、適當な時期にそれを立て直ほすと共に、有利な瞬間に運動の方向を防禦から攻擊へ移すことである。吾々は少數派運動の活動を毎日檢討してゐるのだから、彼等は大衆の先頭に立つてこれを指導し、その有効な戰術に依つて彼等の勢力を擴大し、且つ强めることを解してゐたと告白することができる。そして領袖の背信と裏切とが大衆の間に非常な抗議を喚び起すやうになつたのも、少數派運動の活動のお蔭だつた。彼等は總評議會に付代表されて居らずに、下から活動することが、できただけであつた。けれども政治的に極めて敏感であつたと共に、自分の方向を決めて、戰列を配置する能力を充分に發揮したことは、此の場合忘れてはならぬことである。

戰鬪熱に湧き立つた大衆が前へ前へと進んでゐた時、少數派運動は大衆を共産主義者と結合せしめたのである。次に「出來るなら逃げろ！」といふスローガンの下に、罷業の切崩しが行れてゐた時、少數者運動はこの撤兵に反對した。裏切に失望した大衆の間に、勞働組合を見捨てやうとする傾向が强くなつた時、少數派運動は組合運動からの脱走兵に對して決然と鬪爭した。こんなことがすべて理想的にすら〱進行したとは云はれぬ。勿論、そこには弱みもあれば缺點もあつたのだが、それは正しく遂行された革命的戰線に比すればどこかに失せてしまう。あんな紛糾した重大な局面に在つて、彼等のかうした態度は眞に少なからぬ功績を齎らしたもので、この態度は此の場合賞讃に價ひする。こゝでは、言行が一致

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

してゐる。總評議會が罷業の進行中白日に晒け出した、あの奇怪な懶惰と、無活動と、受動性と、臆病と、屈從とに思ひ及ぶ時、少數派運動の活動は特に氣持ちのよい印象を殘してくれる。

右翼アムステルダム派は忠實な同盟者を見出した。

總評議會の城開け渡しと鑛山勞働者の罷業の息の根を止めやうとする企てとは、國際勞働組合運動に多くの變化を齎らしてゐる。今まで、總評議會は、國際運動の統一の問題に就ては、アムステルダム、インターナショナルに反對の態度を取つてきたが、今や、兩者の間には完全な一致が支配してゐる。背信、裏切り、屈從、臆病が流行する處、アムステルダムの戰術が巣喰つてゐる。總評議會の城開け渡し策は、先づ第一に、總評議會とアムステルダムとを政治的に接近せしめる結果に終つてゐる。總評議會は今では、昨日の攻敵側の完全な同情と支持とを期待することができる。罷業が勃發すると間もなく、パーセルは大陸に出かけて行つて、色んな國々の勞働組合に向つて、總評議會に金を貸してくれと歎願した、總評議會はその財政的基礎を强固にして、もつと對抗して行けるためには、金を借りる必要があつたんだ。總評議會は、スエーデンやオランダで金を借り受けた。ドイツでもそんな約束が成り立つた。かういふ財政上の負債は一定の政治い、上の結果を伴ふだらう。總評議會は政治的に誰れの承認を得て償還しようといふのか？ 誰れの費用で？ 勞働組合統一戰線の問題では、自分の立場を失つてしまひ、そして英露委員會に背かなければならぬことは明かだ。

英國勞働者大衆のための鬪ひ。

勞働者の廣大な層はまだ政治的に可なり遲れてゐるにも拘らず、總罷業は英國プロレタリアートの高度の戰鬪能力を發揮した。袖領の任務は一番遲れてゐる勞働者層に適合して行く處にあるといふ前提の下に、罷業の指導者たちは、英國プロレタリアートの一切の保守的傳統を拔く可らざる原則としてしまつたのだつた。しかし、反動的指導、保守的傳統及び

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

民主主義的幻想にも拘らず、勞働者大衆は高い程度の連帶感と、優れた戰鬪能力と、偉大なイニチアチブとを表した。これは、英國のプロレタリアートが在り來りの勞働組合以上に成長して、獨立した階級となりつゝあることを示すものである。罷業は大衆を政治に教育する立派な學校だつた。勞働者は、彼等自身の經驗で以て、『純經濟的鬪爭』と『立憲的鬪爭方法』とがどんなものだかを正しく評價し得るやうになつた。そこで主もな問題は、廣大な勞働者大衆のために、事件の全連鎖と改良主義的戰術及び革命的戰術の差異とを明かにすることである。破產した袖領たちは、これから、勞働者を自分の側にひきつけ、そして少く共、自分たちの犯した罪を免かれやうとするだらう。吾々はこれに斷乎として反對しなければならぬ。現實の紛擾罪の放免は許されぬ。赤裸々な、むき出しの眞理を示せ。今や、英國に於ける最緊要の問題は、事件についてほんとうのことを云ふことだ。これが、大衆を教育して、勝利者への屈從の習慣を避けしめる、唯一の方法である。事の眞相を歪め、事件の成行をごまかし、かくして大衆の眼をくらますことは、多くの人々が利害を感じてゐる。從つて、この罷業の眞相を傳へるための我等の鬪爭は、同時に大衆のための鬪爭である。吾々は、勞働者が階級を超越した制度を信仰しないやうに教育し、彼等の袖領を監視するやうに教育しなければならぬ。英國の勞働者はまだあまりに善良な精神を、ブルジョアジーの威名に對する信仰を、彼等の袖領への信頼を持ちすぎてゐる。彼等は永い間愛することを解して來た。今は彼等に憎むことを教へる時なのだ。

鬪爭の方法としての總罷業。

無政府主義者やアナルコ・サンヂカリストたちが總罷業に關して色んなお喋りをしたゝめに、總罷業はどんな改良主義者の間にも好かれなかつた。社會民主黨員は、總罷業がまるで總虛妄を意味するものであるかのやうに說いて聞かす。こんな云ひ草は十五年も二十年も以前には通つたかも知れんが、今日では既うマクドナルドの建設的社會主義と同樣に陳腐化してしまつた、總罷業はいつも失敗に歸するだの、それはプロレタリアートに取つては用をなさぬ無用な鬪爭方法だな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

と、證明しようとする、英國勞働者運動の袖領全體マクドナルド、ホッヂス、クリネス商會の試み——こんな試みは鋭い批評には一と溜りもない。こんな先生たちのために起つた敗北をば、總罷業の役に立たぬことの證明として説いて見たつて、それは勞働者の眼鏡を曇らせるばかりだ。罷業が失敗に終つたのは、勞働者階級が力を用ひたからでも、總罷業が拙い鬪爭方法だからでもなくて袖領たち自身に大衆に從ふ能力がなかつたからである。幾百萬の勞働者が同時に仕事を罷めてしまつたことは、それ自身が既に、非常に重大な政治的意義のある事實である。懐ろ手をして罷業に臨んだり、組合主義の狹い範圍に罷業を止めて置いたりして、勝利が得られるものではない。しかし、總罷業と云ふものは必ずしも英國で、トーマス・ベビン商會のイニチャチブに基いて起つたやうに行はれなければならぬものではない。幾百萬の勞働者が同時に彼等の工場や炭坑や鐵道を見棄て、壓迫と搾取との世界に對立するやうになつたのは、その最初の試みがどんな結果に終らうと、二つの陣營への分裂が一層烈しくなつたことを、社會的對立が一層鋭くなつたことを意味する。今度の罷業が失敗に終つても、丁度奴隷民や被搾取階級がいくら壓迫されても反逆を繰返したやうに、勞働者階級が支配階級に働きかける手段は直接行動(罷業と反逆)あるのみである。この罷業の破產は、今や、罷業の代りに議會主義を喜ばしてゐる。彼等は、凡てのことが議會の道を辿つて達せられると想像してゐる。しかしこんな紛らかしは今に初まつたことではない。それは改良主義と同じやうに舊い。英國、立憲と議會主義との古典國では、一切の問題は、立憲的方法にとつてのみ解放されると、永い間絶えず繰返されてきたではないか？ ボルシェヴズムは立憲的なアングロ・サクソンの地盤には榮わぬだらうと、いつも繰返されてきたではないか？ 人々は永い事これを繰返し述べてきたが、生活がこれらの凡ての主張をしてしまつた。(完)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣に於ける政治運動

陳規懷

一

臺灣に於ける臺灣人の政治運動は、世界的恐慌が未だ臺灣の經濟界に震盪し行く前に、即ち一九二一年にその發生をみた。それから近々五星霜を閲することの間に、種々の曲折を經、また毀誉褒貶に包まれ、甚しきは叛逆視さへされてゐる。そして所謂『治警事件』があつてから漸次一般社會の視聽をひくやうになつた。

然しながら、これをもつて運動そのものが進展發達したと即斷することは誤りである。もとより、これに同情し、支持するものが多くなつたことは事實である。そして又、臺灣政府が從來の態度を幾分緩和して來たのによることも事實である。が、その內容や主張は却つて後退するやうな形勢さへ現して居る。臺灣に於ける熾烈な政治運動の對策として、これまで臺灣の政治運動に取つて、所謂最も有力な後援者として數へられてゐた代議士が、『朝鮮及び臺灣に地方自治制施行に關する建議案』（一九二五、二、二七日衆議院議事速記錄同條參照）を第五十議會に提出してゐるのをみると、思ひ半ばに過ぐるものがある。といふのは、臺灣總督に附與した帝國議會の立法權を、臺灣議會――設立を請願されてゐる――に與へよとの自治運動は、臺灣から代議士を中央議會に送るとの、單なる參政權運動とは、大なる懸隔があるからである。等しく自治運動とはいひながら、統治者と被統治者との政治的關係に於ては、前者は少なくとも自立自律の意義を有するに反して、後者は全然、統治者に融合する、年來の主張である內地の延長主義、又は本土延長主義と同等であるからであ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る。臺灣の政治運動に取つて最も重大であるべき被統治者本位と、統治者本位——本國の資本家本位——とを無視するが如きは、『叛逆者』の罵言を甘受して運動する必要のなきものである。臺灣人唯一の言論機關、否彼等一派の機關である『臺灣民報』第三卷第九號(一九二五、三、二一日發行)に、その建議案の顛末を報じてゐたが、これは彼等が思惑買をしたものだと言はねばならぬ。

二

各國の賢明なる爲政者、又は御用學者によつて屢々聞かされた如く、『植民地は本國の實庫』である、『植民政策の成果は經濟政策のいかんにある』といふことは、植民地『搾取』の手段を巧妙に言ひ現はしてゐるものである。實にそれは、前者は十七世紀に於ける植民地獲得の合言葉であり、後者は十八世紀に於ける本國資本家の標語だつたのである。從つて政治上に於てそれを簡單にいへば、前者は專制主義をもつて代表し、後者は本土延長主義——變態的自治制をもつて代表されてゐた。

先進國の植民政策の歴史は、最初の『商業主義』から『農業主義』『工業主義』と進展してゐるが、後進國のそれはこの過程を明確に經過せずに、これ等が交互並行するものである。産業未發達の植民地は、最初は本國の單純なる生産消費であるか、交通の發達につれて未開地が開拓され、農業が自給自足によりて勃興し、續いて企業が盛んに行はれるやうになる。で、最初こそ露骨な搾取政策が遠慮なく施行されるも、産業がやゝ發達して來ると、直接生産者の勢力を無視する時は、反つて産業の發達を阻害することゝなるので、政治上に於ては、被治者も多少統治者に認めらるゝやうになり、こゝに所謂自治制施行の機運を釀成することゝなるのである。

三

歐洲大戰の直前、日本の經濟的發展は既に、支那に新市場を開拓する外に、年々增加する人口を外國へ移植せしめねばならない情態に置かれてゐた。けれども、米國の排日は他にはけ口を有たない日本は、この問題を支那に於て解決するほかなかつた。『日支親善』が日本の輿論となつた時に、臺灣を南支那への經濟的發展の『踏石』にすると同時に、政治的には所謂『日支親善』の『楔子』としたのである。そして板垣退助一派の臺灣人同化論が高唱され、臺灣に於ては同化會が組織された。また臺灣に移民を招來したのも此の頃であつた。ところが、この同化論は臺灣人自身の叫びではなかつた。のみならず傳統的に抑壓政策を取つて來た政府に取つては面白からざることでもあつた。そこで幾干もなく彼等は日本の國策を謬るものであるとの非難をあびせかけられて臺灣を引き上げねばならなかつた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ところが、歐洲大戰は日本の經濟界に黃金時代を現出せしめた。從つて臺灣に於ても漸く發達しかけた家庭工業が急速に組合や會社の企業に集中され、一方物價の昂騰に比して賃銀の安價は家庭の人であつた婦人、子供をを驅りて工場の門をくゞらせた。が、間もなく平和の喇叭が喨々と吹奏されると同時に、弱小民族の民族自決の鐘が世界の果てから果まで響き渡つた。この響は好景氣に孕まれて勃興した臺灣人の商工資本家階級及び新に蘇返つた小ブルジョアの耳にもは入らないわけはなかつた。彼等は民族的に現はれた差別を外にしても、少なくとも臺灣に於ける日本資本主義と抗爭し得る立場——否少なくとも同等の立場を獲得したいとの希望を起させたのは必然であつた。そして又、この思想的要求は暗々裡に臺灣人一般の腦裡にも釀成されるに至り、民族自決の好歡樂は、まさに爆發せんとする活火山の如きに化した。

從來、政府の施設に對してひたすら諦め主義消極的であつたものが、積極的になり進取的になり、教育の如きも三百六十餘萬の臺灣人の爲めの一の中學校も持たぬのに憤して、中學校設置を公然と請願し、進んでその基金を總督府に寄附したのは、その一の現はれといふべきであつた。そして總督府がこの要求を實行せねばならなくなつたのは、從來の武斷政治の終焉を告げる弔鐘でもあつた。それは最早臺灣人が強壓政策をもつて統治し能はざることを意味すると共に、日本の資本主義が臺灣に於ける植民政策の轉換を要求する聲でもあつた。武官總督は文官總督と代り、武官總督によつて唱導された漠然たる同化政策は、文官總督によつて稍具體化する內地延長主義、又は本土延長主義を以つてするに至つた。初等學校に於ける臺灣語の會話の禁止、漢文教育の廢止、書房教育の制限、町名改正の如きが決して同化を顯現するものでないことを悟らせ、教育の均等、共婚法　制定、自治の訓練等が施行された。けれどもこれ等は社會の表面を粉飾する道具に過ぎない。資本主義の發達は必然に私有財產權の保護までに至らざれば止まらない。即ち臺灣に民法商法、を施行せざるを得なくなつて來た。けれども、資本主義社會には常に一方に與へたものを他方に於て取り戾すカラクリがある。自治制を施行したといつてもその議員は官選であり票決權を與へずしてその答申のみを認め、教育の門戶を臺灣人に開放しながら『國語を常用するもの』との條件が附せられ、日本人よりも低い初等教育を臺灣人に施して、日本人と同一の入學試驗を課する如き、所謂一視同仁、共存共榮の意味が疑はれるのである。

そして一方に於ては、官制改革で縮少された豫算は悉く日本政府に收奪されて、臺灣に於ては一般豫算の充足を期する爲めに稅制の改正を實行して人民の負擔——殊に第一、二、三種の所得稅施行によりて地主、商工階級の受けた——を加

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

重せしめねばならなかつた。この稅金加重に對する不平は、前の模倣的自治制に對する不滿をいやが上に激成し、一種の暗流はアイルランド、インドの獨立運動と相呼應するかの如き形勢を呈するにさへ至つた。

四

この情勢に乘じて、最初に政治運動の導火線に點火したのが、智識階級によつて組織された彼の『新民會』である。續いて言論機關として現在の『臺灣民報』の母である『臺灣青年』が發刊された。けれどもこれは、まだ日本に於けるブルジョア自由主義者の援助の下に東京在住の智識的臺灣人を中心とする運動に過ぎなかつた。

越へて一九二一年秋、文化運動を標榜する思想團體『臺灣文化協會』が臺灣に於て創設され、この冬には政治運動の先驅として彼の『臺灣議會設置』の請願が帝國議會に提出されたのである。そして續いて政治運動團體として『新臺灣聯盟』や思想運動團體としての『社會問題研究會』が組織された。こゝに初めて醞釀されてゐた情勢が、全臺灣民衆の要求となつて眞の政治運動が勃興しかけたのである。

臺灣議會設置運動は、專制政治を排斥して民衆政治を要求し、總督に委任された行政、司法、立法の三權を、臺灣在住の人民より選出された議員に依つて構成される議會に獲得する要求であつた。

『現在の臺灣統治は制度上、行政、立法、司法の三權を臺灣總督の一人に專屬せしむる獨裁政治である。總督の任命に係る評議員を以て組織する臺灣總督府評議會存せりと雖も、彼の官選評議員は固より公正なる民意を代表する能はず、且つ諮問機關の答申として官權の濫用匡正するの効力無く、殊に諮詢事項の任意たる點より見れば、殆ど該評議會を存立せしむるの意義を失へり。從つて斯くの如き有名無實の評議機關は總督獨裁なる非立憲政治を緩和する何等の效果なしと論斷せざるを得ず。又臺灣島民が行政官廳の違法處分に依りての權利を毀損せられても、全く行政裁判なる救濟方法なく、且言論を以て憂世仁人に訴ふる自由を有せず、結局如何なる苛政に苦まるゝも、唯官權これ從ふべき非法治制度の下に呻吟せざるを得ず。最近臺灣州、市、街庄制布かれてより地方團體の外形をなしたるも、地方自治體に缺くべからざる意志機關に相當せる州、市、街庄協議會は官選協議會より成れる諮詢機關にして何等の議決權を有せず、是れ地方住民に納稅義務のみを負はしめて地方自治の權を與へざる變則的制度なり。而かも從來の警察補助機關たる保甲制度を撤廢せずして、徒に臺灣島民の公課負擔を加重せしむるのみならず、之に非文明的連座法を設けて一般島民を苦しむるが如き實に時勢に背馳せる制度と謂はざるを得ず。其他、日本語を解する臺灣人は僅か臺灣人總數の二、九%に當る（大正九年十月一日國勢調査に依る）にも拘はらず、普通教育に於ては專ら日本語を以て教授用語と定め、兒童の個性自由を妨げ、智育發達を遲らしめ、優秀逸材を凡化せしむるが如き、現代文明國に於て類例なき峻酷極まる匪徒刑

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

罰令を以て刑法上の騷擾罪に當る犯罪を内亂罪以上の重刑に處するが如き、日本内地の浮浪に對する取締は警察處罰令に定めたる罰則を受くるのみなるも、臺灣に於ては單に地方官の行政處分を以て人民の身體自由を無期限に拘束し得るが如き、賣上高年六百萬圓の阿片專賣收入を圖るため國際的に禁止せられたる阿片害毒を流して臺灣島民の心身を消耗せしめ、國際の道義を無視したるが如き、多數米作農民に干渉して甘蔗を栽培せしめ、而してその收穫したる甘蔗は法令に定めたる砂糖原料採取區域制度に違ひ、之を其指定區域外に搬出し、若くは砂糖以外の製造用原料に供することを得ず、必ずやその指定製糖會社に賣渡すべく、而かもこの價格は官廳の認可を受くるのみにして何等當該農民を決定せざる故、蔗作農民の蒙れる損失の多大なるは推して知るべきが如き、日本内地より中華民國へ渡航するには旅券を要せざるに、臺灣人が臺灣より中華民國へ渡航するには必ず旅券を必要とし、徒に臺灣人の對岸交通貿易を不便ならしめて日華親善の一大障碍を爲すが如き、孰れも人權を蹂躪し、道義を沒却し……」

と臺灣議會設置理由書には述べてある。又當時發行された「臺灣青年」創刊號の卷頭辭には

「横暴に反抗して正義に從ひ、利己的、排他的 獨尊的の野獸生活を排斥して、共存的、犧牲的、互讓的の文化運動を謀ひて、かく目醒め來たれり。見よ、國際聯盟の成立、民族自決の尊重、男女同權の實現、勞資協調の運動など、一としてこの大覺醒の賜にあらざるものなし。この大運動の意義や、或はこれと共鳴し能はざる人はすでに、その人たる價値を失ひたり。況んや一個の國民にあるに於てをや」

と掲げてある。これは最もよく時代の思潮に感應されてゐることを示す一例であると共に、一般民衆の支持を受けた所以である。

臺灣議會設置請願は、日本の統治より分離して獨立する表現ではなく、日本の國民たるが故に日本國民としての待遇——機會均等を與へよ、そして臺灣人の生活樣式を尊重せよといふのである。それだけ臺灣議會設置請願運動は民族運動であると共に、小ブルジョアの自由運動である。そして又日本の小ブルジョア自由主義者の同情を勝ち得たのもそれ故である。

けれども、請願運動が眞に一般民衆の一致した支持を受けたのは、その運動の二年目の一ケ年に過ぎなかつた。そしてそれは小ブルジョア連が、支配者の經濟的壓迫で手をひき、同情的支持がなくなつたからでもあるが、臺灣には未だ大組織の工場産業がなく、眞實の勞働階級が存在せぬ爲めである。けれども智識階級や無産階級はもはや以前の無意識狀態ではなかつた。そして新しき無産青年はこの間から生れんとしてゐる。

一方農村に於ては、農村の智識階級や中産階級によつて經濟運動が起つて來た。芭蕉自由問題、竹林問題、林糖爭議等々は收奪者と被收奪者との經濟的抗爭である。けれども、も

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

こよりこれは純然たる勞働運動ではない。恰かも議會請願運動と同樣少數中產階級の利害——後者に於ては比較的背道的にせよ——を代表した運動に過ぎない。芭蕉自由問題は、千圓の保證金を所有せぬ問屋や、五甲步以上の耕地を有せぬ生產者が、もし臺灣青菓組合に統一されたなら、自然小問屋は大生產者の爲めに、小生產者は大生產者の爲めに壓倒される處から、こゝに自由輸出を主張する所以である。竹林問題は、一資本家三菱の爲めに臺中州三郡に亙る竹林拂下げに對する荷業主等のその業主權を取返さんとする爲めに惹起された爭議であり、林糖爭議は、林本源製糖株式會社に屬する原料區域の農民が甘蔗買收價格の不法低廉から勃發したゝのであつて、賃銀勞働者の爭議ではない。臺灣にはまだ眞の無產階級の政治運動も、勞働運動もない。唯だ現在はその黎明期である。

五

現在の臺灣の政治運動を、明治維新と同樣であると評するものもあるが、それは大なる錯誤である。明治維新は土地資本と商業資本の抗爭であつたが、臺灣の政治運動は、日本の資本主義の羽翼の下に惠まれて生成した土地資本や商業資本は最早、獨立することが出來る故に、彼我の利害關係、更に換言すれば、各自の利害を避ける爲めの繩張りを鮮明にするのが根本的要求である。そして明治維新當時の第四階級が全然階級意識を有しなかつたのに反し、現在の臺灣には少數ながらも階級意識を有してゐるものがある。從つて議會設置運動以外に、既に民族的障壁を打破つて、經濟的關係で團結された芭蕉自由輸出を主張する如き、芭蕉組合、小作組合等が同時に出現するのである。

現在に於ては、斯くの如く無秩序に現はれてゐる諸運動も、必ずや漸次に統一され、そして甘蔗買收價格の引き上げを目的とする二林の蔗作組合や、小作料の引き下げを目的とする鳳山の小作組合の如きが續々組織されて、日本の無產階級運動と、完全に相提携するのも遠くはあるまい。今臺灣に於ける無產階級運動は「歷史上に於ける一切從來の運動は少數の運動である。若くば少數の利害のための運動である。平民運動はこれと異り、大多數の利害のために、この大多數が自覺せる獨立運動である」に第一步を踏み出したのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

インターナショナル・ノート

今年度の勞働組合總會議と英國無産階級運動

組合總會議にかけられた期待

今年度の「勞働組合總會議」は、いろいろの點から少からざる期待をもたれた。スカアブロに開かれた去年の「組合總會議」は、そのいくつかの議案において、英國無産階級運動のめざましい左翼化を示したものであつた。その後の一年の間に英國の勞働階級はいかなる進展をなしたであらうか？　それを語るべきものが今年の「總會議」である。

さらに、今年の「總會議」は英國勞働運動史における劃期的な出來事である總罷業の後を受けた最初の英國全勞働者の集りである。總罷業は日和見幹部の資本家との妥協のために、脆くも失敗に終つた。「總會議」はそのために全運動に投げられた暗影をば、いかにして一掃するであらうか？　總罷業の失敗は、よく考へて見れば、また實に、遠くスカアブロの大會にその原因をもつてゐたといふことができる。スカアブロの大會が、ただ、左翼的精神の記念碑を築いたにとどまつて、當時、當然に豫期された資本家と政府との協同攻撃に對して、具體的にはなんの準備をも試みようとしなかつたこそ、ついに、あの失敗をもたらしたものである。今年の「總會議」は、この去年の失敗に顧みて、何をなすであらうか？

最後に、炭坑勞働者のみは、敢然と、いまもなほ血みどろな鬪爭を續けてゐる。來るべき「總會議」は、總罷業の失敗を取戻すための大事な手段である、この炭坑罷業にどんな態度をもつて臨むであらうか？

人々が今年の「總會議」にかけた期待は、まことに大きなものであつた。

期待は無殘にも裏切られた

かうした期待のうちに「總會議」は、九月、ブアンマスにおいて開かれた。だが、その期待は無殘にも裏切られてしまつた。まづ、議長の挨拶からしてがさうであつた。――「勞働組合は、今日においては、法廷や議會が社會生活の一部であると全く同樣に、社會生活の一部をなすものである。」勞働組合をブルジョアジーの機關と同視するこの協調的、非階級的精神！　この挨拶によつて暗示されたやうに、總會議は全く「靜かな」「思慮深い」「反省的な」ものであつた。

總會議の試練が、炭坑爭議に對する態度、總罷業の批判にあるべきことは容易に暗うるであらう。しかもこの兩者とも「總會議」においてはほとんど全く問題に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

されなかつたといつてよい。炭坑爭議については、まづ、外國炭の輸入をいかにして防ぐべきかに對してなんらの手段を執らうとしなかつた。

エイ・ジー・トムキンズ(少數派)——「總評議員會」は、アムステルダム・インタアナショナルをして、石炭が英國に入るを防ぐこの可能性を調査せしめるために、いかなる手段を執つたか?」

ビュー(議長)——「そのことは報告のこの部分では出てきません」

トムキンズ——「どの部分で出てきますか?」

ビュー「お氣の毒ですが、それは申しあげることができません」

のみならず、財政上の援助についても、「總會議」は、たゞ僅かに、これを各組合の自由寄附に委かすことをきめただけである。「總會議」から一定額を出さうとはしなかつた。あだかも「總會議」が全く無組織であるかのやうに。

總罷業の問題についてはさらに甚しい。これについての討議をほとんど全く許さなかつたのである。そこで、その理由として、「總評議員會」は、第一に、「總評議員會」は「勞働組合執行委員會」に對してのみ報告の責任を有すると云つてをる。

タナー(少數派)——「この「總會議」は「總評議員會」をして報告を「總會議」に出させゐないと考へられますか?そして、「執行委員會」の方がこの「總會議」よりもより大なる機能をもつと考へられますか?

ビュー(總評議員會長)——この問題については、勿論です。

第二の理由としては、「總評議員會」と炭坑夫組合との「六月協定」によつて、炭坑爭議の終了までは總罷業の問題を討議しないことになつてゐる旨を述べてゐる。しかも、これは、事實は、幹部間の取引であつて、「總會議」を束縛しないものである。

「總會議」の一般的空氣が、スカアブロのそれに引きかへて、いかに右翼的であり、いかに反動的であつたか——それはこれらのことから充分に知りゐられるであらう。

しかも、底の流れは左翼的だ

だが、我々は絶望するにはあたらない。我々は、この重苦しい空氣の底に、なほも、清新な左翼の流が、まさに、強くなりつゝあるのを知るべき二三の事實を見ることができる。それは第一に、「地方評議員會」が、「總評議員會」の意志を無視して、外國炭の輸入禁止、炭坑爭議應援資金の強制徴集を決議してゐる事

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

實である。しかも、このうちには、ランカシャ、チェシャのやうな炭坑地方ばかりでなく、ロンドンのやうな炭坑爭議と直接の關係のない地の「地方評議員會」も含まれてゐる。このことはいはゆる平組合員が、幹部を置きざりにして、いかに左翼化されつゝあるかを示すものではないか。

第二に、組合員の增加である。一九二五—六年において組合員は、一九二一年以來始めて、增加し始めた。そして、その增加が去年の「赤い金曜日」と丁度時を同じくしてゐることは、「安全な」「保守的な」政策が組合を殺し、たゞひとり戰鬪的政策のみが組合を强くするものであることを實證してゐる。

第三に、總會議の直前に開かれた「少數派運動會議」は九五六、〇〇〇の勞働組合員を代議員として、この左翼的運動があらゆる迫害にもかゝはらず、日增しにその勢力を伸ばしつゝあることを充分に物語つた。

かくして、大衆は依然として、否、ますく〜從來の協調主義を捨てゝ、共產主義へ、階級鬪爭へと進みつゝある。

總會議の失敗の原因は？

それでは、なにゆゑに「總會議」はかうした大衆の意志にもかゝはらず、失敗に終つたのであらうか？ 我々はいくつかの原因——技術的といはうか——を數へることができる。第一に、よい鬪士の「總會議」に出席しえないものが多かつたこと。例へば、少數派運動のリーダーであり、過去四年間に亘つて幹部反對の運動を指揮してきたポリットが入獄中であつたやうに。これについても、彼はもう五日で刑期が充ちる筈であつたから、「總會議」が政府に向つて少し强い壓迫を加へるならば、彼を「總會議」に出席せしめたであつたらう。が、「總評議員會」は僅かに通り一片の抗議をしたのみである！

第二に、去年は、スカアブロの大會において、非常なる感動をば聽衆に與へたところのロシヤの友誼代表トムスキーは、今年は政府のためにその發言を禁止された。友誼代表の演說を差止めることは「總評議員會」のよくしないところである。そこで政府が「總評議員會」の意志を代行したわけだ！

第三に、既に見たやうに、幹部——「總評議員會」はあらゆる術策を盡くして、討議を押へた。そのことは既にのべた、トムキンズ、タナーに對する答辯によつてよくわかるであらう。彼等は反對派に對してはほとんど演說、質問を許さなかつたのである。

第四に、炭坑夫組合のクックの失敗をあけねばならない。炭坑夫組合の代議員達は、總罷業炭坑罷業の問題に關しては充分に發言の機會をもちゐたのである。なぜなら、ここ彼等の直接の利害に關す

るのであるから、「總評議員會」の專横をもつてしても、これを押へることはできない筈であるから。しかもさうであらうか、炭坑夫組合の領袖であるクックは、さきにのべた「六月協定」に關して、むしろ「總評議員會」を支持して、一般の質問、討議を拒むの愚を敢てした。彼は後に「デイリー・ヘラルド」紙で、このことが彼の失敗であつたことを告白してる。しかしそれは全く後の祭である。

英國無產階級運動はいかに進むべきか？

要するに、今年度の「總會議」の失敗は、從來の協調主義的な日和見幹部が、總罷業の挫折に際しての彼等の非を蔽はうとして、彼等に背いて罷業をひとり續行した炭坑夫に對してはむしろその罷業を敗北に終らせるべく——彼等の觀察が正當であつたことを無理にも證據だてるため——、また總罷業そのものについてはこれを有耶無耶に葬るべく、あらゆる努力を敢てしたこと、そしてそれが成功したこと、にあるといへよう。それは、さらにいへば、一つには、「勞働組合會議」の組織が極めて「官僚的」であり、官僚幹部にとつてその威を振ふのに極めて都合よくできてるからである。

だが、もつと大切なことは「總評議員會」の選任について「總會議」が甚しく放漫な點である。去年、スカアブロの大會が强い左翼的精神を盛つた議案をいくつか通過せしめながら、それが單なる議案にとゞまつて、左翼的政策にまで移されなかつたことも、大會が「總評議員會」の選任に不注意であり、舊來の協調主義的幹部を依然として幹部の位置に据ゑて置いたゝめであつた。

けれども、これら舊指導者は、かゝる行爲によつて大衆の信頼をます〳〵失ふであらう。否、實際に失ひつゝある。それは、今次のブアンマス大會における彼等の得票數をスカアブロのそれと比較するならば、容易に察しうるところである。一例を擧げれば、ビューはスカアブロにおいては三、五四三、〇〇〇を獲たに反して、ブアンマスにあつては二、九三〇、〇〇〇に減じてゐる。

新しい指導者の出る日は決して遠くないであらう。何處からか？　それがいはゆる「總評議員會」の左翼でないことは明かである。彼等は嘗つては——全然受動的であるが——「少數派運動」に動かされたが、今次の大會にあつては、彼等は「總評議員會」の右翼と行動を全く一にすることによつて、その正體を曝露した。彼等も大衆の信望を裏切つたのである。例へば、スカアブロにおいて三、五一〇、〇〇〇票を獲たパーセルはブアンマスにあつては二、三〇三、〇〇〇票を獲たにとゞまる。

たゞ「少數派」のみが——「共產黨」をその心臟とした——のみが英國無產階級の新しい指導者たりうるであらう。

（一九二六・一一・一一　M・N・）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

國內戰線

大衆敎育同盟
東京府聯合大會

十月三十一日午前十時から、大衆敎育同盟東京聯合會が東京神田佛敎會館に於て開催された。出席代議員八十餘名、傍聽者二百餘、殆ど滿場立錐の餘地なき盛會であつた。

この日殊に目にたつたのは、臨席官憲の横暴ぶりであつた。本部員の議案說明に悉く中止を命じ、再び他の議案の說明を許さなかつたことなど、暴狀實にその極に達した。議案及び運動方針は左の通り

議案　宣言發表の件　總同盟其他脫退に關する聲明書發表の件　議會解散請願運動に積極的參加の件　婦人協議會運動支持の件　規約改正案等。

宣言

勞働者階級に對する資本家階級の飽くなき搾取と小作人に對する地主の奴隷的壓制との上に構成せられてゐる資本主義社會に於ては敎育も亦階級的に組織せられる。

支配階級はその經濟的優越を支持せんがために、被支配階級に對して、常に思想的支配をおこなひ、階級對立の事實の陰蔽と無產者階級反抗の緩和とを怠るものではない。

殊に帝國主義時代に入つて階級對立の矛盾益ゝ激烈となり從つてその思想的支配も崩壞せんとするに至つては、彼等は青少年訓練、學生軍事敎育等積極的にブルジョア思想注入に努力し、更に無產階級の陣營內に其代理人を潛入せしめて階級協調的精神を鼓吹し鬪爭力の破壞を企てる、この故に無產階級運動の經濟的政治的全鬪爭過程を通じて之と並行するところの理論的鬪爭が極めて重要なる意義を有し、又この理論的鬪爭を益々深め行くことによつて、常に無產階級意識を高めてゆくことなしには全鬪爭の發展はあり得ない。

然るに我國無產階級に於ける理論的鬪爭の無產階級的敎育機關は、在來勞働組合、農民組合等の團體の一專門部たるに止まり、その結果、ブルジョアイデオロギーの支配に抗爭し、無產者階級意識を戰ひとるための充分なる使命は果た況んや、現在日本無產階級運動は急速に經濟鬪爭の分野より政治鬪爭に轉換せんとして居る、卽ち、在來の自然發生的日常鬪爭を中心としてゐた部分的鬪爭より一部の階級勢力を集中した全線的意識的鬪爭に轉ぜんとする轉回點に立つてゐるのである。斯くの如き重大なる時機にさいして、特にこれと並行するところの斷乎たる理論的鬪爭とこの結果としてのブルジョアイデオロギーよりの徹底的分離、及び明確なる無產階級的政治意識の獲得なしには、よくその政治鬪爭の使命を完うする事は出來ない。而も政治鬪爭への進展とともに、我が國に於ては既にその戰線內に小ブルヂョア的政治意識を發生し、眞實の無產階級的政治意識を毒そうとしてゐるではないか。

我々は理論的鬪爭に依つてかゝる小ブルヂョア的政治意識を克服し眞實の無產階級意識を益々高揚すべき重大なる任務を帶びてゐる。我が大衆敎育同盟は、斯くの如き見地より我が國階級戰線のあらゆる場面に於て理論的鬪爭――無產者敎育への使命の一端を果さんとするものである。而して亦、日本無產階級運動の重大なる時期にさいして、大衆敎育同盟の活動と任務とが全無產階級の要望の中に立つてゐることを信ずるものである。大衆敎育同盟は、今上の如き新らたなる使命と新らたなる陣容とを以つて　こゝに活動期に入らんとするにあたり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

右の如く宣言するものである。

大正十五年十月三十一日

總同盟脫退反對同盟

總同盟出身の勞農黨中央委員が、勞農黨から脫退したことに對して、總同盟內の組合大衆の間に反對運動起り、十一月二日、日本勞働總同盟勞農黨脫退反對同盟を組織し、左の聲明書を發表した。

勞働農民黨脫退反對に關する聲明書

▽幹部は總同盟を危機に陷れた

▽組合大衆よ！　奮起せよ！

去る十月二十四日勞働農民黨第四回中央委員會に於いて、我が日本勞働總同盟の黨中央委員(西尾、末廣、麻生久、藤岡文六、齋藤健一の四氏)が、議事に入るに先だつて退席し、勞農黨脫退を聲明するに至つた事は、本年十月總同盟大會の決議に依る組合大衆の勞農黨に對する誠意を蹂躪せる行爲であり、同時に又、政治鬪爭に展開せんとしつゝある全日本無產階級の信望を裏切り其の結果、總同盟を孤立無援の危機に當面せしめたものである。

創立以來十五年日本勞働運動の中堅として光輝ある歷史を有する我が總同盟を、斯の如き悲しむべき苦境に瀕せしむるに至つた事は偏に、勞農黨組織の全過程を通じて、本部が、全階級的政治鬪爭に對する認識を誤り總同盟組合大衆の意志を無視した結果である。

我々は、勞農黨が日本無產階級の有する唯一の階級的單一政黨であり、更に、總同盟本部がこれに對する對策を常に誤り來つた事を信ずるが故に、飽までも勞農黨を支持し、總同盟本部が勞農黨を脫退せる事に斷然反對するものである。

一、總同盟はブルジョアに賣られ樣としてゐる

大正十五年度、勞働總同盟全國大會に於て、我々は『勞働農民黨に對して積極的態度を以て臨む事』を決議したのであつた。これ勞農黨に對して日本無產大衆が要望せるが如く、我々も又その前途に絕大の期待をかけてゐる事を示すものであり、我々がその發達の爲に積極的に努力せんとする誠意を發露したものである。

然るに、大會後いくばくも經ざる勞農黨第四回中央委員會の前日總同盟本部は一部幹部を召集して政治部員會と稱し、突如として勞農黨脫退を決議發表した。そして黨中央委員會に於て總同盟がその主張と政策を充分に貫徹し得る餘地があつたにも拘はらず、議事開始に先だつて退場するの醜態を敢てしたのである。

我々は、かゝる態度を取るに至つた本部の意志が、一體何處にあるか推察するに苦しむものである。而も、本年度大會が政黨對策を中央委員會に一任せるにも拘はらず本部はこれを召集する事なしに、僅か數名の幹部を以て事を決して仕舞つた。これ組合大衆の意志を蹂躪し大會の決議及組合の統制を無視するものでなくて何であらう。

脫退以後の本部の行動に就いては更に怪しむべきものがある。即ち、政治部長西尾末廣氏は、脫退に關する何等の承認を經ずして、十月二十六日『地方政黨其他準備委員會組織を即時行ふべし』との指令を出し、更に、社會思想社獨立勞働協會等の知識階級を中心に新政黨を組織し、總同盟はこれを支持する事を新聞紙に發表した。これ無產政黨組織に關する階級的態度を沒却したものであり、我が愛する總同盟を小ブルジョア的一部野心家の利權に供せんとするものである。

我々は斯の如き勞農黨と對立する非階級的政黨組織に關しては斷じて同意する事は出來ない。全日本無產階級が要求してゐるものは階級的單一政黨であり、勞働農民黨

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

こそは、この要望の中に生れたものである。總同盟は、今まで全日本無産階級の中堅としてその利害の爲に戰つて來たのだ。今小ブルジョア的野心家と共に政黨を組織せんとする總同盟幹部は總同盟大衆をブルジョアに賣り、日本無産大衆を欺き去るものではなからうか。

二、總同盟の階級的精神を守れ！

勞農黨第四回中央委員會に於て總同盟黨中央委員が脫退して後、我が總同盟は友誼團體の非難の中に孤立するに至り我が國勞働運動に於て現在最も緊急たる勞働者農民の結合を破壞しさらんとした。

ブルジョア新聞すら『總同盟は常に勞農黨の破壞のみを働いてゐるのである。そして、實は自らその孤立を悲しんでゐるのである』と曰はしめ『評議會來るとの聲におびえて逃げ去るが如き醜態をさらさないでも好い』と嘲笑せしめた。（東京朝日十月二十六日社說參照）況んや無産大衆及び友誼團體に與えた影響に就ては、我々が云々するに忍びざるものがある。

昨年十二月一日、農民勞働黨發會式を前にして、總同盟がこれを脫退した事に依つて禁止解散の非運に會つた爲、總同盟に對する非難と憤慨の聲漸く甚だしきものを加えて來たのであつたが、本年三月勞働農民黨に加盟した結果、再びその誠意を認められて來た。

然し、加盟以後總同盟本部は、黨に對して何等積極的態度を示さず、黨本部の機能、支部の組織に關しても依然サボタージュを續け農民黨發會式に齋藤健一君を以て祝辭を述べしむるなど、外に友誼團體よりの疑惑の的となり、內に政治鬪爭への要求に燃え立つた組合大衆の憤慨を醸すに至つた。

而も、第四回黨中央委員會に於いて、突如脫退を聲明するに及んで、中間派組合の支持すらも失ひ完全なる孤立狀態に陷り、その結果、既に全國に八十餘の黨支部を組織せる勞農大衆と手を切つて小ブルジョアと妥協せざるを得ない樣になつたてはないか。

嘗て總同盟が高唱して來た、勞農大衆の提携、大衆的無産政黨の樹立は、今我々から消え失せ、殘る所は無産大衆からの孤立無援、ブルジョアとの妥協のみではないか。この責任は果して何處に在るか。我等は日本勞働總同盟を愛する。

我等は日本勞働總同盟をば飽まで日本無産階級解放運動の中堅として、その使命貫徹の爲に戰ひ行かうとするものである。

この故にこそ、我々は一部幹部が專斷に依つて勞農黨を脫退し、孤立の危機に瀕せる悲境をば打開し、光輝ある十五年の歷史を守らんが爲に、當然として起つて、勞農黨脫退反對同盟を組織し、茲に我々の態度を聲明するものである。

總同盟三萬五千の同志諸君、總同盟を飽くまで小ブルジョアの支配より擁護せよ勞農黨脫退に反對して、我々の陣營に參加せよ。

大正十五年十一月二日

日本勞働總同盟
勞農黨脫退反對同盟

加盟組合

日本鑛夫組合足尾支部
神奈川合同勞働組合
關東合同日暮里支部
神奈川鐵工淺野ドック支部
自動車勞働組合
關東合同有志
神奈川聯合會有志
東京鐵工有志
關東紡織有志
東京革工有志
還友同志會有志

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

總同盟と右翼新政黨

有るかなきか、殆ど存在を疑はれてゐた獨立勞働協會の馬場恒吾、片山哲、宮崎龍介、島中雄三の諸士は、總同盟の勞働農民黨脱退に力を得て、小ブルジョア黨の樹立を目ろみ、十一月四日安部磯雄、吉野作造堀江歸一の名を以つて、左の『新政黨促進に關する聲明書』を發表した。これは廣く右翼勞働組合と智識階級に向つて右翼新政黨の組織を勸誘するもので、年内遲くとも來春結黨式を擧げ得るやう努力する段取りて、右政黨が表面は智識階級の提唱によるが如きもの丶實質は總同盟が活動の中心となり、小ブルジョア黨の結成にあるは勿論である。

聲明書

普通選擧は實施せられた。既成政黨は國民の信望を失つてゐる。今や民衆を基礎とする堅實なる新政黨の出現は當然の歸趨と考へる。然して今日無産政黨を標榜するものの所在にこれ無きに非ずといへども、吾人はこれをもつて、眞に堅實なる基礎に立つ大衆の結成と認むることは出來ない。然も吾人と志を同じうするものは天下到る所に澤山あり、かつひそかに皆、新大政黨の出現を待ち望んでゐる。吾人は固より各その業務を異にし、余生を擧げて純政治運動に託すべきか否やにつき必ずしも共同の意圖を有せざるも、この絶好の機運に乘じ、理想的新政黨の誕生の産婆役としていさゝか犬馬の勞を取るは、國家社會のため無用の業に非ざるべしと信ずる。これ敢て廣く天下の同志に檄し、その參同をこふ所以である。

大正十五年十一月四日

安部磯雄、堀江歸一、吉野作造

統一運動同盟
關東地方同盟創立大會

十一月十二日、全國統一運動同盟の關東關西二地方同盟創立大會が、一は大阪に、一は東京芝公園協調會館に於て開催された。集るもの東京市從業員組合、關東木工組合、關東地方評議會、關東傭給生活者組合、蒲田勞友會有志、自治會有志、日本農民組合、關東地方有志、横濱市電共和會有志、横濱傭給生活者組合、横濱尾外勞働組合等の代表者四十餘名、市從業員組合大道憲二氏議長の下に左記の事項が審議決議された。

一、宣言審議の件

二、政策確定の件

イ、全國勞農組合聯合卽時實現

ロ、階級的單一政黨としての勞働農民黨の積極的支持

三、規約審議の件

四　全國的組織確立の件

イ、全國同盟創立大會開催提唱

ロ、全國同盟規約草案審議(委員一任)

五、勞働農民黨支持に關する件

六、小ブルジョア黨に對する件

七、右翼聯合運動に對する件

八、議會解散請願運動支持の件

九、事務所設置の件

宣言

我が國資本主義は、未だ封建的殘滓を止むるに拘らず、早くも世界資本主義と共没落を合流してゐる。

從つて封建主義に對する政治的自由が尙多大に獲得されずにあると共に無産階級に對する徹底的搾取が益々强壓を加へてゐる。勞働條件の絶對的低下・永久的失業群增大・農民大衆の生活條件の致命的剝奪・之らは團結權・罷業權・耕作權・更に又言論集會結社自由の絶無と反動的團體組織化等の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

政治的强壓に合流統一され今や我無產階級に對する資本攻勢は積極的反動的に肉迫してゐる。

翻つて我が無產階級運動を見るに、資本の統一的組織的攻勢に對して何等我々自身の戰線の統一を見ない。然も未組織大衆の原野は尙ほ遙か廣大に殘されをり、失業群は未組織のまゝ益々多く街頭に農村に投げ出されてゐる。それのみではない。今や吾々自身の內部に、無產大衆の要望たるべき戰線の統一を意識的に破壞し、階級鬪爭を否定して『無抵抗合法』のブルジョア自由主義的政治鬪爭へ躍出し、意識的に反動的に無產大衆の要求と運動とを撲滅し去らんとするものがある。

右翼結成の運動卽ち之である。

かつて我が無產階級は戰線の統一を要望し、幾度か其運動を試み、其度每に、彼等所謂右翼指導者の分裂政策による戰線統一の破壞の苦を嘗めねばならなかつた。然るに今や吾々は單一政黨たる勞農黨に結成し、總聯合促進の路に進出し、最早や單なる、所謂右翼指導者の分裂政策に攪亂され得ざる程の地步にまで稍々發達して來た。無產大衆は彼等所謂右翼指導者等の階級的裏切りから自らを守り得たのだ。

併し、今日の所謂右翼指對者らは反動的政治的鬪爭に躍進してゐる。彼らの分裂政策は最早や以前の如くではない。彼等は今や全面的に無產大衆の要求と運動とを撲滅せんとするのだ。我々は今や初めて我々の進むべき途を知る。それは單なる部分的鬪爭から全面的鬪爭への躍進である。之によりてのみよく我が無產大衆運動に積極的に對抗せんとしつゝある反動的右翼指導者を克服することが出來、之によりてこそ資本の統一的組織的强壓と戰ひうるのだ。

我々は今や勞農大衆の戰線の統一が、初めて强大に發展しうるの希望を持つことが出來る。勞農黨は益々擴大しつゝある。具體的鬪爭は今や强大なる地步の上に展かれんとする。こゝに吾々は組合統一の運動を提唱し、强大なる總聯合への邁進を誓はんとする。

統一運動同盟關東地方同盟創立大會は卽ち此の爲めに開かれるものである。

勞働農民黨を積極的に支持せよ！

全國勞農組合總聯合卽時實現に向つて邁進せよ！

一九二六・一一・一〇

統一運動同盟

關東地方同盟創立大會

議會解散請願デー

日本農民組合主催の議會解散請願運動全國協議會は、十一月十四日大阪勞働學校に於て開催された。出席代議員は全國各地の十五團體からの三十名、去月十九日創立された農民組合近畿協議會主催の議會解散全國協議會は第一次の使命を完了したので解體し、議會解散運動を如何にして實行するかの協議事項に移り、各團體から一名の小委員を擧げ、委員會の結果により、名稱を『請願運動全國協議會』と稱し、請願項目は議會解散、耕作權、罷業權、團結權の確立、言論、集會、結社の自由確保と定め、實行委員七名を選出し、十二月一日を期し、全國一せいに運動を起すことを決議した。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

講話

來年度歲出總豫算詳解（上）

佐々木三郎

前代未聞の大豫算

大正十六年度の一般會計總計算概算が、十一月七日の閣議で決定したが、これはブルジョア新聞の評判によると、前代未聞のもので、總歲出拾七億參千參拾七萬圓、戰前即ち大正三年の決算に比べて、二倍七分、三井、三菱、藤田、住友、大倉、其他の、大ブルジョアの私有財產の總計に匹敵するのである。

何んと大きな世帶ではないか。

しかし、國家の來年度の世帶收支は、まだ之れだけではない。

右の總豫算概算は、これを各省に通達して、「豫定經費要求書」を提出せしめ、また「歲入豫算明細書」と照り合はせて、本極りの總豫算を編制し、來議會に提出する順序になるが、（議會が解散されたとすれば、十五年度豫算を、その總額不超過の原則に従つて、按排し、實行豫算を編制施行することになる）此のほかに、なほ追加豫算と特別會計豫算の二たつがある。

特別會計豫算とは、「一般會計に準據し難い」（會計法第三十九條）といふ理由で、國庫收支を、殊更ら、一見しただけでは、分らなくする爲めに設けられたかの如く、複雜したもので、各種の基金、國營事業、殖民地等に亘り、三十八種類もあり、しかも本年度の例に見るも、本豫算は（一般會計總豫算）拾六億參千九百萬圓なるに、特別會計豫算は三十八種類總計歲出貳拾八億壹千參百萬圓（このうち、拾貳億圓内外は、

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本豫算こダブつてはゐる）の巨額に達する。また、追加豫算とは、「必要缺　可からざる經費」「法律又は契約に基く經費」（會計法第七條）として、政府の責任に於て、使つて了つてから、次年度の議會に、追加承認を求めるもので、毎年總豫算が議會で議了されてから、一號二號……と、提出されるが慣例である。

從つて、追加豫算は、更來年の話であるが、來年度の、特別會計豫算は、これから決める順序なれば、いはゆる前代未聞の豫算とは、本豫算だけについて、云はれてゐることに、注意しなければならぬ。

十六年度總豫算概算　（單位千圓）

	歲入	歲出
經常部	一、三四八、一三五	一、一七五、二七〇
臨時部	二二一、六二一	五五五、一〇五
計	一、五六九、七五六	一、七三〇、三七五
差引歲入不足		一六〇、六一九

所管別	經常部	臨時部	合計
皇室費	四、五〇〇	四、五〇〇	四、五〇〇
外務省	一六、四九二	二、八六八	一九、三六〇
內務省	四二、〇九〇	二三五、三四四	二七七、四三四
大藏省	三三九、九三一	五九、三八五	三九九、三一六
陸軍省	一七三、六二六	五八、四四〇	二三二、〇六七
海軍省	一二五、九七八	二九、四四八	一五五、四二六
司法省	三一、〇八五	六、二五六	三七、三四一
文部省	一一九、二一七	二一、二三二	一四〇、四四九
農林省	三六、四二三	一二、九〇九	四九、三三二
商工省	四、四七〇	七、一九九	一一、六六九
遞信省	二七九、六九五	六五、八一八	三四五、五一三
合計	一、一七五、二七〇	五五五、一〇五	一、七三〇、三七五

大豫算の内容

かくの如き、前代未聞の大豫算は、何故に編制せられたか。それは、議會解散の準備だとも、見られ、それは又、ブルジョア經濟の不安定の安定策だとも、見られてゐるやうだが、こゝでは、かゝる詮索はさて置き、謹しんで片岡藏相の説明を聽聞すると、既定經費に於て、參千八百萬圓を節約したるも、一般の新規要求壹億壹千萬圓、義務教育費増額五百萬圓、金鵄勳章年金増加參百參拾萬圓、國債償還増額四千四百四拾萬圓だけ、増加したことに原因する由である。

然らば、それらの内容は如何。

軍事費と補助艦計畫

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

先づ、一般の新規要求に基く、各省の經費から追跡を始めると、外務省の移民奬勵費四拾五萬圓、內務省の移植民奬勵費五拾貳萬圓、職業紹介事業增加のタッた參萬五千圓、陸軍の在營年限短縮費四百拾萬圓、海軍の大演習費五百萬圓、司法の思想問題攻究費貳萬五千圓、農林の自作農維持貸付利子補給增額九拾壹萬圓、商工の貿易振興、鑛業保護、蠶糸局設置經費その他土木營繕費等が見られる。

しかし、何んと云つても、海軍の、新艦船維持費五百九拾萬圓、補助艦艇建造費四百七拾貳萬圓が、眼ざはりにも、大きくのさばつて見える。

何故かといふに、元來が、日本ほど軍事費の巨額な國は少ないからだ。假りに、陸海軍費を、總豫算と對比すると次ぎの如くである。(單位千圓)

	總歳出額	陸海軍費	割合%
大正元年	五九三、五九六	一九九、六一二	三四分
大正三年	六四八、四二〇	一七〇、九七九	二六
大正九年	一、三五九、九七八	六四九、七三八	四八
大正一〇年	一、四九一、一八六	七三〇、五六七	四九
大正一一年	一、五〇一、四八五	六五四、一二〇	四四
大正一二年	一、三八九、五五三	四八五、六八一	三五
大正一三年	一、四九九、〇五四	四三一、七〇五	二九
大正一四年	一、五二四、四八一	四二六、七五四	二七
大正一五年	一、六三九、三八一	四三九、八七〇	二七
大正一六年	一、七三〇、三七五	四六七、四六五	二七

備考、イ、大正十年前は決算による。ロ、八八艦隊計畫の通過したるは大正九年七月　ハ、華府軍縮會議の批准は大正十二年八月

前年加藤內閣の財政整理で、ともあれ三割一分から二割七分に減額されたが、自から誇稱して緊縮內閣――實は大ブルジョアの整理保護內閣――と名乘りたる憲政會內閣に於ては、軍事費に、大鉈を振ふどころか、金額を漸增してゐる。殊に、今回の補助艦建造費の如きは、華府會議で、主力艦の比率、英米一〇、日六、と決定し、十四年九月、これがため十九隻一萬八千噸を廢艦すると同時に、各國と共に、「次ぎの戰備」として、計畫されたのが、いはゆる補助艦問題で、その一部驅逐艦四隻は、既に本年度豫算編制のときに承認され、今回、その既定計畫は、左のとほりに決定した次第である。

建造艦艇總數二八隻

巡洋艦	四隻	驅逐艦	一五隻
潛水艦	四隻	河用砲艦	三隻

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

特務艦　二隻

建造費五ヶ年貳億六千萬圓

一六年度	四、七三五千円	一七年度	二、九二六千円
一八年度	八八、〇〇〇	一九年度	八八、〇〇〇
二〇年度	六八、六三七		

備考

一、海軍艦船一覽表、（十五年九月現在）

艦種別	隻數	排水量
戰艦	六	一九一、三二〇
巡洋戰艦	四	一一〇、〇〇〇
巡洋艦	二二	一一五、九五五
	七	未成
航空母艦	二	一五、三七五
	二	未成
水雷母艦	四	二八、七三〇
敷設艦	三	一九、六八五
海防艦	一一	八〇、三二六
砲艦	一三	七、九九一
驅逐艦	九一	—
	一六	未成
掃海艇	二一	七、八三四
	三	未成
潜水艦	五六	—
	二七	未成
特務艦	二八	—
	一	未成

兵員、現役　七二四七〇人、豫備　一五二七四人

二、陸軍兵備一覽表

歩兵聯隊	六八	騎兵聯隊	二五
野砲聯隊	一五	野戰重砲	八
重砲聯隊	三	飛行聯隊	七
山砲聯隊	四	砲車聯隊	一
鐵道聯隊	二	電信聯隊	二
重砲大隊	四	工兵大隊	一七
輜重大隊	一五	騎砲大隊	一
氣球大隊	一	戰車隊	一
要塞			

義務教育費の增加

教育費の國庫負擔額五百萬圓の增加が、これ又「大豫算」の原因だらうである。この負擔額の增加は、諸政黨の「地方土産」としての、選擧地盤安全のために、一致したお題目にされてきたが、十四年度豫算編制にあたり、岡田文相は、之れを放棄して、貳百參拾萬圓の青年軍國主義教育費を獲得

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

し、鼻を蠢めかせたといふので、地盤安全派の怒りを買ふに到り、十五年度豫算には、參千萬圓を增額して、七千八百萬圓を計上したのに、又々來年度五百萬圓を增額することゝなつた。これで、總選擧には、憲政會候補者の地盤安全といふ胸算用の確信を得たわけであらふ。

十四年度市町村敎育費割合

歲出總額	一、〇一四、三七二千圓		
敎育費	二七五、九九六	總歲出に對し	二七%
俸給費	一四二、六二八	敎育費に對し	五一%
國庫負擔	七八、四六三	俸給費に對し	五五%
右の補助額			
敎員一人當り	一七六圓三七一厘		
兒童一人當り	四圓一三八厘		

國庫負擔は右の俸給費の一部として、支出されるもので、俸給費は大正五年の參千五百萬圓が、九年には壹億七百萬圓となり、爾來每年增加しつゝある。かくて又、政府が何故に、かゝる巨費を、敎育費に投じて惜しまざるかは、木崎村の無產農民學校事件が、雄辯なる說明を與ねたところである。

「死に金」の恩給

次ぎは、金鵄勳章年金增加參百參拾萬圓――功五級以下平均五拾圓增五級は年參百五拾圓――であるが、金鵄勳章が、吾々にとつて何を意味するかは、云はずとも明であらふ。

しかるに、勳章年金のみでなく、考朽軍人のためには、各種の恩給（在職十一年以上）家族扶助料、一時賜金等の、施設があり、大尉、少佐くらひの壯年でありながら、退職して恩給に依存し、又は、恩給を抵當にいれて、ブラ〳〵と「子供の生產」と「靑年反動化敎育」に憂き身をやつすの現狀に在る。

官吏もまた、全國の官吏總數三十三萬六千人、これに支拂ふ俸給年額貳億參千六百萬圓。これからも、恩給依存者が輩出しつゝある。

大正十三年度恩給並に扶助料額

		人員（千人）	金額（千圓）
文官	恩給	四三	二二、四〇六
	扶助料	一七	四、五八二
武官	恩給	一六一	六二、七〇七
	扶助料	九七	一九、二六八
計		三二〇	一〇八、九六三

十四年度の年金及恩給總額は、壹億貳千六百萬圓、十五年

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

度は壹億貳千九百萬圓に達する始末に、ブルジョア政黨間に於ても、これを「死に金」とさへ云はるゝ。

巨額なる元利償還

國債總額（十五年度單位千圓）

	發行額	現在額
內債	三、四八一、六五四	三、一七九、五八四
外債	一、五一九、六九一	一、四七九、三一二
計	五、一八七、四四七	四、九〇四、三一八

國債利子支拂額

	內國債	外國債
大正一二	一五一、七九六	五八、五三六
一三	一四八、二八一	七六、〇〇七
一四	二三〇、七六一	但し國債整理基金繰入れ
一五	二四四、三五二	

さて、右の數字が示す如く、わが國債總額は四拾九億四百萬圓、毎年利子だけでも、貳億三四千萬圓を支拂ひつゝある、かゝる巨額なる國債は、いかなる用途に使用されたか——鐵道公債その他を除けば、多くは軍事公債である——は、こゝでは論じない。

問題の減債基金法改正（明治三十九年國債整理基金特別會計法國債總額の萬分の一六を毎年償還す）により、さらに四千四百四拾萬圓（國庫剰餘金の二割五分）を増額し、利拂ひのほか、壹億圓弱の元金償還を行ふといふことが、つまり、片岡藏相のお手柄として、太皷をたゝかれた所以であるが、此の減債制度は大正九年國防費不足のために、一時中絶され、十二年から復活されたもので、「利喰ひ虫」——利子生活者——の、露骨なる保護政策と云ふよりも、「金融資本の保護」を、目標として企てられたものである。

國費分配の不合理

しかして、來年度歲出豫算の內譯は、各省の豫定經費要求書が作製されてからでないと、分らないから、取敢へず本年度豫算によつて、これを分類してみると、大體次ぎのやうな振り合ひになる。

國費の分配が、いかに、不合理なるかは、說明をまたずとも明白であらふ。

一般會計歲出分類表

	千円	%
行政費	一五三、〇四九	九・三九
震災復舊諸費	二〇四、〇四七	一二・四四
軍事費	四二二、四四三	二五・七七

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

恩給、利子等	四一四、五〇九	二五・二八
土木、拓殖費	五三、八四二	
司法、警察	四九、六五九	三・〇二
教育費	一二〇、一四七	七・三二
社會的施設	三、二六三	一・九八
神佛費	一、八三二	・一〇
國營事業費	一八〇、五七三	一一・〇一
産業奬勵補助	三一、〇二七	一・三四

分配的經費（利子又は恩給）こ軍事費（本省費を除く）は、總歳出の、實に五割一分〇五毛こなり、問題の教育費は七分三厘二毛、社會的施設は、驚く勿れタッタ一分九厘八毛、しかも職業紹介、健康保險、衛生施設が、其の全部である。

かくの如き、國費の分配に對し、無産階級の結成されたる政治的勢力は、國家資本主義への發展段階に立ちて、そもそも何處を衝ひて進まんこはする。

もこより「社會的施設費の分配」は、今日に於ては、さしたる問題ではないこするも、拾七億參千萬圓を以て、資本主義國家の大世帶を張りつゝ、しかも又、自からは大資本家たる（特別會計中の左記の歳出を見よ）ここを示す。これが對策は、吾等の當面しつゝある重要な問題でなければならぬ。

國營事業一覽

	固定並に運轉資金	十五年度歳出額
造幣局	一〇、九六九	四八、三八八
印刷局	九、五五五	六、六六〇
專賣局	五七、九〇五	一七五、二三八
造兵廠	一二〇、六〇八	四九、九七三
製鐵所	四、三八七	六、一二〇
火藥	七、〇八二	三、二二二
燃料廠	一六、九四四	二〇、一二二
製絨所	一三二、九〇九	九四、〇〇三
鐵道	二、三二三、二一〇	二一七、二九一
海軍工廠	一六、五〇〇	三五、二九八
健康保險	―	八、〇六二
簡易生命	―	三〇、八三七
計	二、七〇〇、〇六九	六九五、二一五

備考　イ、單位千圓、ロ、造幣局基金を除く、ハ、遞信事業（前掲一般會計分類に含む）を除く、ニ、歳入を除く。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

編輯後記

口あまりにあはたゞしきうちに大正十五年は逝かんする。

『大衆』も十號を重ね、『勞農大衆』の支持するところに從ひ次は第二卷のページを繰りひろげることになる。新らしい編輯方針を盛つた、新しい樣式を以て、讀者にまみゆるために、同人は準備中である。

熱心なる、又厚意ある、同志諸君の御注意を期待する。

口先月號は、又々、發行が遲れたが、本年の最終號こそは、期日どほり間違ひなく、、發行されることゝ信ずる。編輯は既に一月號に取掛つてさえ居るから。

口今月號は、鑛夫組合の黑川悟郞氏、海員組合の大串榮吉氏から有益な論文を、勞農欄に寄せられて、おかけで賑やかになつたが、ページの都合で、論文を減じ、勞農欄の一部を寄稿に割愛しなければならなかつた。筆者並びに讀者諸君にお詫びする。また、調査欄は、臺灣に關する前號のつゞきを片附けるために一つより記載出來なかつた。青木氏の論文も、二回に分割したが、農民問題に關する有益なる論綱たるを失はぬ。

口總同盟に、脫黨反對同盟がおこり、製陶同盟が分裂し、組合總聯合には改造同盟がおこつたといふ。雜誌『勞働者』が生れ、新聞『日本勞働新聞』が生れるといふ。なか／＼多端だ。多端にして、あはたゞしきうちに大正十五年は靜かに逝く。（十一月十五日薄生）

本社移轉

今回左記地に移轉いたしました。省線電車濱松町驛（市電は大門前）のすぐ附近です。ごうぞお立ち寄り下さい。

一、誌代はなるべく振替東京一六二三八（色文矢）番にて至急お拂ひ込みを願ひます。（經理部）

二、原稿その他編輯用務は、編輯部へ願ひます。次ぎの締切は十二月八日まで。

東京市芝區濱松町一ノ一五

大衆社

定價

〇壹部參拾錢（送料壹錢）
〇半年壹圓七拾錢（稅共）
〇一ヶ年參圓參拾錢（稅共）

廣告料

〇一等八拾圓
〇二等五拾圓
〇三等參拾圓
（但し、半頁はお斷り）

大正拾五年十一月廿八日印刷
大正拾五年十二月一日發行

編輯發行兼印刷人　黑田壽男

東京市芝區濱松町一ノ一五
發行所　大衆社
（振替口座東京一六二三八番）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大阪市役所社會部編纂

月刊 勞働月報

大正十五年七月 第六十三號

定價壹部 拾貳錢
郵税 貳錢
半ヶ年分七拾五錢

資本主義文明は何れの國に於ても都市を中心として流れて居る。吾々は都市を正視することに依つてあらゆる近代的智識の要求を充し得る。此意味に於て我國に於ける代表的都市を求むれば大阪市を措いて之れに比肩し得るものはないであらう。今や勞働月報は卽ち此の地に於ける信憑すべき資料に基き正確簡明に其の産業並に勞働狀態を表出せんとするものである。勞働問題は理論的討究より事實そのものゝ調査研究に向つて進まんとして居る折柄本誌の如きは正に好個の指針たるべきを信じて疑はない。敢て江湖に薦むる所以である。

—大阪市社會部編纂—

餘暇生活の研究	定價二・八〇	送料・一八
工場勞働 雇傭關係	定價三・〇〇	送料・一八
勞働雇傭狀態	定價二・〇〇	送料・一八
最近勞働爭議顛末 I	定價二・〇〇	送料・一八
同 II	定價一・七〇	送料・一八
朝鮮人勞働者問題	定價一・〇〇	送料・一八
日傭勞働者問題	定價二・五〇	送料・一八
勞働組合運動	定價三・〇〇	送料・一八
勞働組合と勞働爭議	定價三・〇〇	送料・一八
最近借地借家爭議顛末 I	定價二・五〇	送料・一八
同 II	定價一・三〇	送料・一八

京都市丸太町通寺町東
振替大阪一七〇五番

弘文堂書房

東京市神田區淡路町二
振替東京五三九〇九番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

インタナショナル叢書

▲急激に勃興し來れる我國無産階級運動最近の進展は認識の領域に於ても從來の如く純經濟過程の研究にとゞまることを許さず、一切の現象の最も具體的な、最も全面的なる暴露を促した。かくの如き理論こそ現在の段階に於ける無産階級運動の實踐と眞に辯證法的な交互作用をなしうるであらう。而して實にかくの如き見地に立つ眞實の意味の理論こそ本叢書が提供せんと志すものである。

▲かゝる全面的なる一切の現象の暴露は必然に國際的見地に立たねばならぬ。一切の問題を、資本主義の沒落過程並に之に對する無産階級の變革的實踐の全國際的行程の特殊なる環として考察することによつてのみ、問題の眞の辯證法的解決は與られるのであり、一切の行動の正しき指針は與られるのである。これ我々が本叢書を名づけてインタナショナル叢書と呼ぶ所以である。

レーニン著 藤井米三譯 **無産階級政治鬪爭過程に於ける組織問題**

ジノヴィエフ著 白谷忠三譯 **露西亞社會民主黨史**

ヴァルガ著 山崎雄次編 **世界資本主義經濟の危機**

ブハーリン著 逸見重雄譯 **ソヸエットロシアと背教者カウツキー**

京都市丸太町寺町東入 振替大阪一七〇五番

弘文堂書房

東京市神田區淡路町二 振替東京五三九〇九番

ロイ著 門屋博譯
過渡期に於ける印度

ブハーリン著 水野秀夫譯
資本蓄積と帝國主義

是枝恭二著
日本無產階級運動の發展

大森義太郎著
世界經濟、世界資本主義、帝國主義

水野成夫編
一九二六年度に於ける國際無產階級運動の現勢

福本和夫・水野成夫・淺野晃・淸水平九郎 共編
岐路にたてる英國プロレタリアートと英國總同盟罷業

野呂榮太郎・石田英一郎 共著
レーニン主義と支那民族運動

レーニン選集の刊行

第一篇 社會民主々義の任務、日和見主義に對する抗爭
第二篇 一九〇五年に於ける二個の戰術
第三篇 議會主義批判、帝國主義戰爭
第四篇 三月より十月迄
第五篇 露西亞ソヴヰエット共和國

京都市丸太町通寺町東
振替大阪一〇七五番

弘文堂書房

東京市神田區淡路町二
振替東京五三九〇九番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

レーニン原著 堺利彦註譯

（最新刊）

無產社パンフレット（10）價貳拾錢

左翼小兒病

價參拾錢 郵稅貳錢

社會主義大意……堺利彦（、10）
勞働と資本……マルクス（、15）
社會主義と進化論……パンネコック（、10）
利潤の出處……マルクス（、10）
社會主義學説大要……堺利彦（、30）
ゴタ綱領批評……マルクス（、10）
パリコンミユン……堺利彦（、10）

ロザの手紙……堺眞柄（、10）
唯物史觀要約 資本蓄積傾向……（獨英和對照譯）（、30）
左翼小兒病……レーニン（、30）
ロシア革命十一月七日……堺利彦（、10）
唯物的辯證法の話……堺利彦（、10）

平易と明解を主とした當社出版物は無產階級團體の教材として最も價値あるものです・團體にて多數注文の場合は割引します・尚この他社會問題に關する内外の書籍の取次をします・月刊『赤い星』（價參錢）『名著だより』は無代贈呈但し貳錢切手封入のこと・代金引換は一切御斷りします

東京麴町八ノ二〇 無產社 振替東京二四六二六

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

マルキシズム叢書

河上肇編輯

- レーニンの辯證法（デボーリン）……河上肇譯 定價・八五
- 哲學の貧困（マルクス）……淺野晃譯 定價二・九〇 郵税各・一八
- 階級鬪爭の必然性とその必然的轉化・河上肇著 定價・五〇
- 改版 勞賃・價格及利潤（マルクス）……河上肇譯註 定價・四〇 郵税各・一五
- 反デューリンク論（エンゲルス）……林要、河野密共譯
- カントに於ける辯證法（デボーリン）……宮川實譯
- マルクス政治論文集（マルクス）……杉道夫譯

× × × ×

- 經濟學批判序説（マルクス）……河上肇、宮川實共譯
- 國際勞働者協會の成立（第一インタナショナルの歴史）（リヤザノフ）……大庭三太郎譯
- 事項別編纂マルクス書簡集（第一）（マルクス）……本多芳郎譯並編
- 神聖家族（マルクス、エンゲルス）……河野密譯
- 價値形態論（マルクス）……赤松五百麿譯
- ヴエラザスリツチへの手紙（マルクス）……淺野晃、喜多野清一共譯
- 社會科學問答（エンゲルス）……森戸辰男譯
- ケルン共産黨事件（マルクス）……村山藤四郎譯
- 初版資本論首章（マルクス）……小林輝次譯

京都市丸太町通寺町東 振替大阪一七〇五番

弘文堂書房

東京市神田區淡路町二 振替東京三五九〇九番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

林要譯　ヒルファディング原著

金融資本論

定價貳圓
送料拾八錢
菊版約三一五頁
假綴

最新刊

第二分冊資本の動員と金融資本の獨裁……原著者は本編に入りて愈々問題の本質——最近資本主義發展の理論的解剖——に進む。譯者に依るに、それは交へられたる矢がまさに弦をはなれて、唸りを發しつゝつき進む行程であり、そこにはレーニンをも推賞を吝ませざりし明快なる現實の解剖展開がある。譯文は嚴密にして暢達、すでに定評のある名譯である。

（第一分册）＊貨幣と信用……定價一、二〇　送料・一八

近刊豫告

マルクス著　マルクス政治論文集……杉道夫譯
ブハリン著　社會主義への道……河上肇　大橋積共譯
リヤザノフ著　國際勞働者協會の成立（第一インタナショナルの歷史）……大庭三太郎譯
マルクス著　ゴータ綱領批判（改訂）……水谷長三郎譯
ルカッチ著　レーニン……水谷長三郎譯
事項別編纂　マルクス書簡集第一……本多芳郎編

京都市丸太町通寺町東　振替大阪一〇七五〇番
弘文堂書房
東京神田淡路町二ノ四　振替東京五三九〇九番

大正十五年四月二十四日第三種郵便物認可
大正十五年十一月二十八日印刷　大正十五年十二月一日發行（毎月一回一日發行）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN